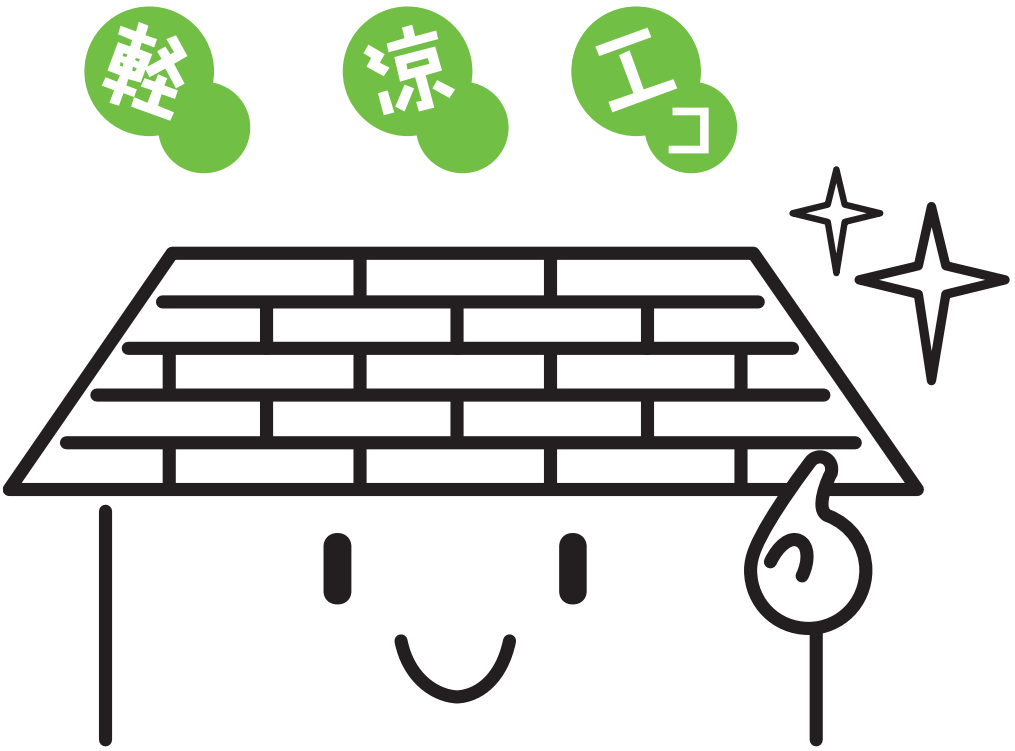
YOSHIOKA

高反射率塗装ガルバリウム鋼板屋根材

ウッドピースグランデ
COOL GLシリーズ

標準仕様書



目　　次

第１章　製品特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

１．姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
２．特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
３．製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
【ｳｯﾄﾞﾋﾟｰｽｸﾞﾗﾝﾃﾞ 8】・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
【ｳｯﾄﾞﾋﾟｰｽｸﾞﾗﾝﾃﾞ 15】・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
【共通副資材一覧】・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～8

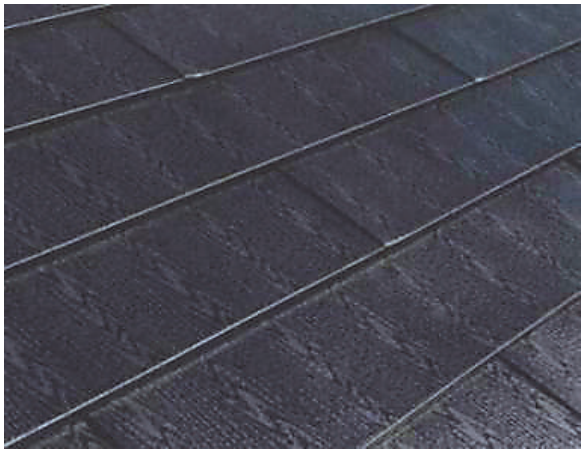
第２章　施工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

１．事前チェック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
２．検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
３．施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
４．施工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
A）ルーフィングの施工・・・・・・・・・・・・・・・・・11
B）ｳｯﾄﾞﾋﾟｰｽｸﾞﾗﾝﾃﾞの施工・・・・・・・・・・・・・・・12
(1)ｹﾗﾊﾞ納まり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(2)軒先納まり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(3)平部の納まり・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
(4)本棟・隅棟納まり・・・・・・・・・・・・・14～15
(5)壁・屋根取合・・・・・・・・・・・・・・・15～16
(6)-1 谷(谷Ｗハゼ)部納まり・・・・・・・・・・・17
(6)-2 谷(剣先・捨板)部納まり・・・・・・・・・18～20
(7)共通納まり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
(8)ドーマの納まり・・・・・・・・・・・・・・・・・22
(9)雪止めの取付け方・・・・・・・・・・・・・・・・23
(10)葺き替えによる納まり・・・・・・・・・・・・・24
○屋根面部取替補修方法・・・・・・・・・・・・・・25
○屋根工事完了報告書(見本)・・・・・・・・・・26～27

第３章　安全作業について・・・・・・・・・・・・・・・・28～29

第１章　製品特徴

１．外観



平　部

葺き上がりイメージ

２．特長

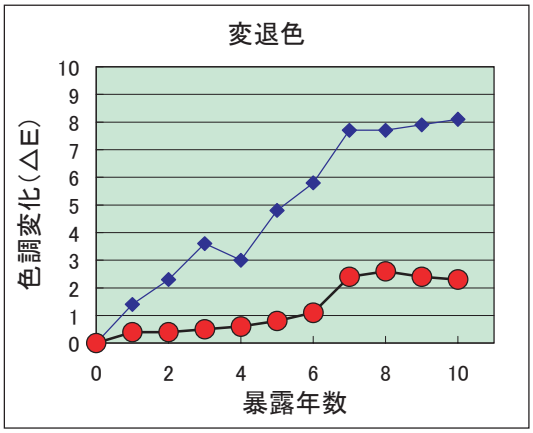
◎外観・・・・・ウッドピースグランデは８㎜段差と 15 ㎜段差の２種類から選べます。
段差の生み出すハゼ部は重厚感のある見事な葺き上がりを実現します。
隅棟のラインも綺麗に仕上がります。

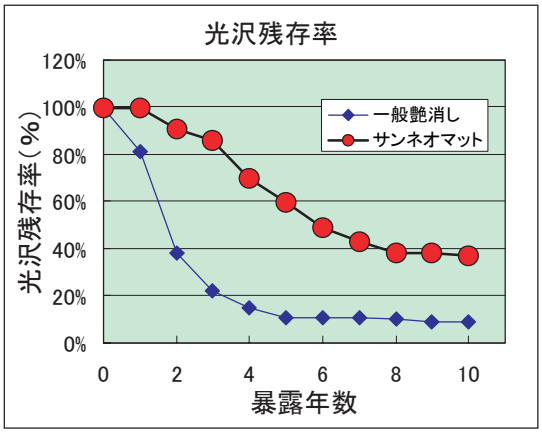
◎柄・・・・・・表面にエンボス加工を施し、雨水の分散による防汚機能と意匠性を併せ持っています。

◎耐久性・・・・耐久性に優れたガルバリウム鋼板に、遮熱機能を付与した高耐候性縮み塗装を施した高級化粧鋼板を採用しています。

【高耐候性の試験結果】

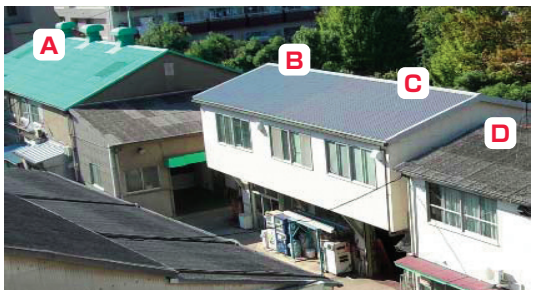
サンネオマット塗膜の色の変化と光沢の変化を一般の艶消し鋼板との比較で評価しました。　（屋外曝露評価：沖永良部１０年）

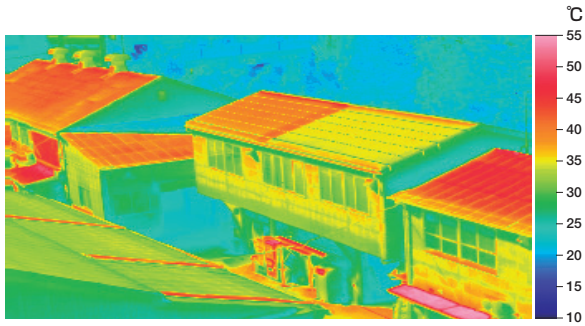




〔サンネオマット塗膜は一般の艶消し鋼板に比べ色の変化、光沢の変化が共に少ない〕

◎遮熱性・・・・遮熱塗装により、太陽の光を効率よく跳ね返し、小屋裏温度の上昇を防ぎます。





部 位	屋 根	塗 料	最高温度（℃）	温度差（℃）	
				Cとの差	Bとの差
A	金属屋根	一般塗料	43.56	7.58	2.3
B	やまなみ	一般塗料	41.23	5.25	―
C	やまなみ	高反射	35.98	―	―
D	スレート	―	50.73	14.75	9.5

測定日：平成20年10月28日　　測定場所：㈱タニタハウジングウェア（東京）

◎長期保証・・・寒冷・多雪の東北地方で２０年以上の実績を誇るウッドピースならではの安心の長期保証付き屋根材です。

◇塗膜１５年保証（塗膜のひび、割れ、はがれ）

◇変褪色１０年保証

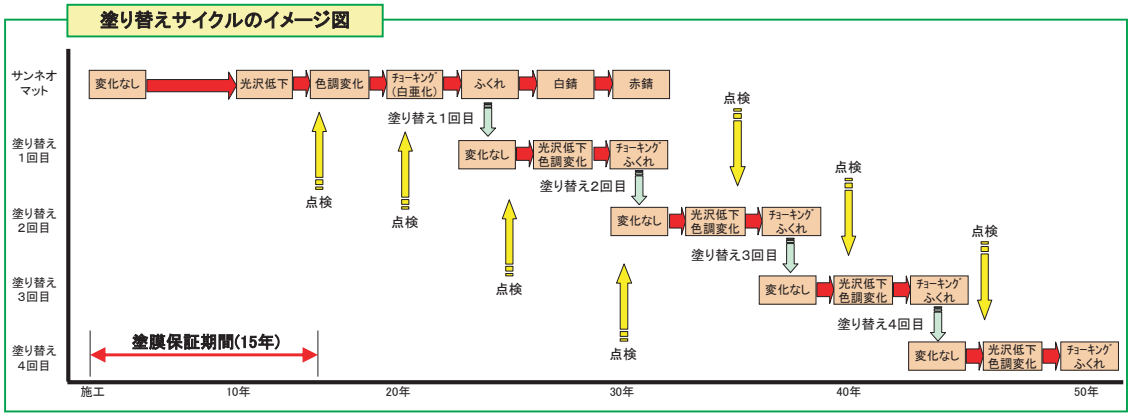
◇赤錆・穴あき１０年保証

◎水密性・・・・縦・横嵌合式により、高水密性を実現、２．５寸勾配から対応可能です。すが漏れにも凍結融解にも強い構造です。

◎軽量・・・・・無駄を省いた設計で、1㎡当たり約５ｋｇの軽量化を実現しています。

◎経済性

「ウッドピースグランデ15」クールGL（サンネオマット遮熱仕様）は適正な時期に手入れを行えば、長期間にわたりご使用になれます。塗り替えサイクルのイメージは下図の通りです。



注1）関東地方のごく一般的な環境を想定したイメージ図です。環境によって劣化の程度が異なりますので、塗り替え時期については劣化の程度によりご判断下さい。
注2）自然現象（落氷や寒冷地での落雪、つららの落下など）や屋根上での作業などによってサンネオマットに傷がついた場合は、上記サイクルとは別に傷部のメンテナンスが必要です。
注3）雨の当たらない部分などには海塩粒子や酸性雨の酸成分などが堆積し劣化を促進するため、定期的に水洗いされることをお勧め致します。

３．製品仕様

	ウッドピースグランデ８	ウッドピースグランデ１５
有　効　幅	224 ㎜	220 ㎜
有　効　長　さ	1,060 ㎜	1,075 ㎜
製　品　幅	267 ㎜	260 ㎜
製　品　長　さ	1,115 ㎜	1,130 ㎜
１坪当たりの枚数	14　枚　張　り	
１枚当たりの有効面積	0.237 ㎡	
14 枚張り面積	3.3 ㎡	
屋根施工最低勾配	２　寸　５　分　以　上　(多雪地は３寸以上)	
梱　包　単　位	１　坪　１　梱　包	
重　　量	板厚 0.35 ㎜　16.6kg／坪	板厚 0.35 ㎜　16.6kg／坪 板厚 0.40 ㎜　18.5kg／坪
使　用　素　材	JIS 規格屋根素材用 ガルバリウム鋼板 国土交通省不燃認定番号 NM－ 8697	
表　面　処　理	ポリエステル樹脂系塗装　(エンボス凸部：アクリル樹脂系塗装)	

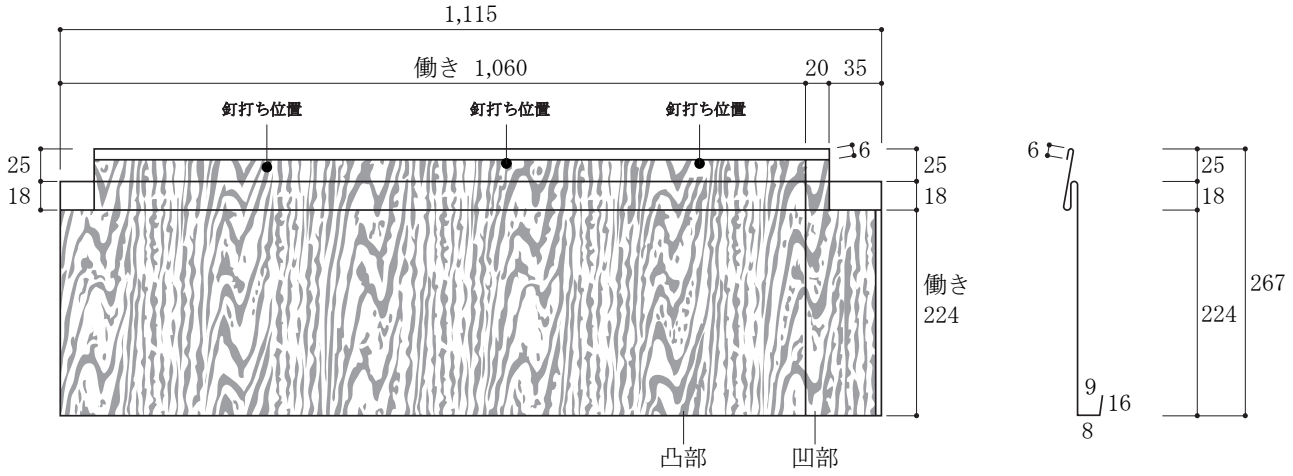
※他素材での特注はお問い合わせください。

標　準　カ　ラ　ー	色　記　号	マ　ン　セ　ル　記　号	
		色　相	明度／彩度
クールブラック	MY－ 201、601	8.7ＲＰ	3／0.1
クールセピアブラウン	MY－ 202、602	5.6Ｒ	3／0.7
クールダークブルー	MY－ 203、603	1ＰＢ	3／2.5
クールダークグリーン	MY－ 205、605	9ＧＹ	3／1
クールシルバーグレー	MY－ 206、606	5ＢＧ	3／0.3
クールラスティグリーン	MY－ 207、607	9ＧＹ	3／1
クールオレンジ	MY－ 208、608	4ＹＲ	5.5／8
クールホワイトシルバー	MY－ 211、611	N6.8	－

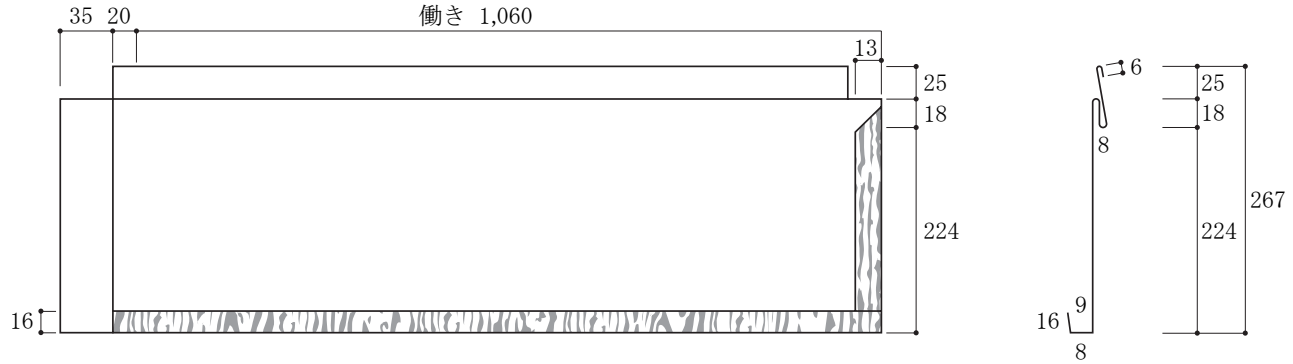
【　ウッドピースグランデ８　】

1. 製品概要図

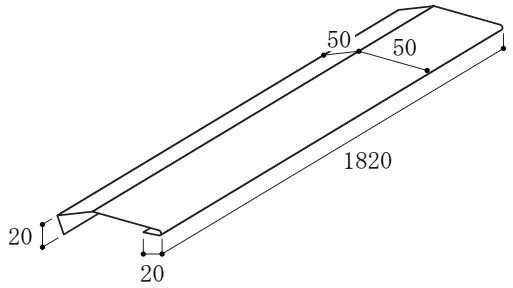
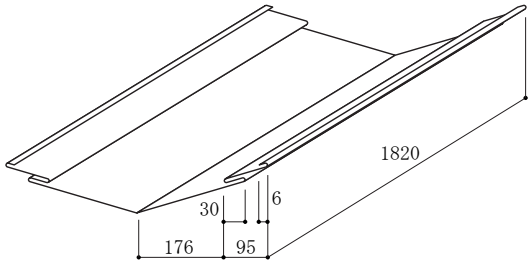
表　面　図



裏　面　図



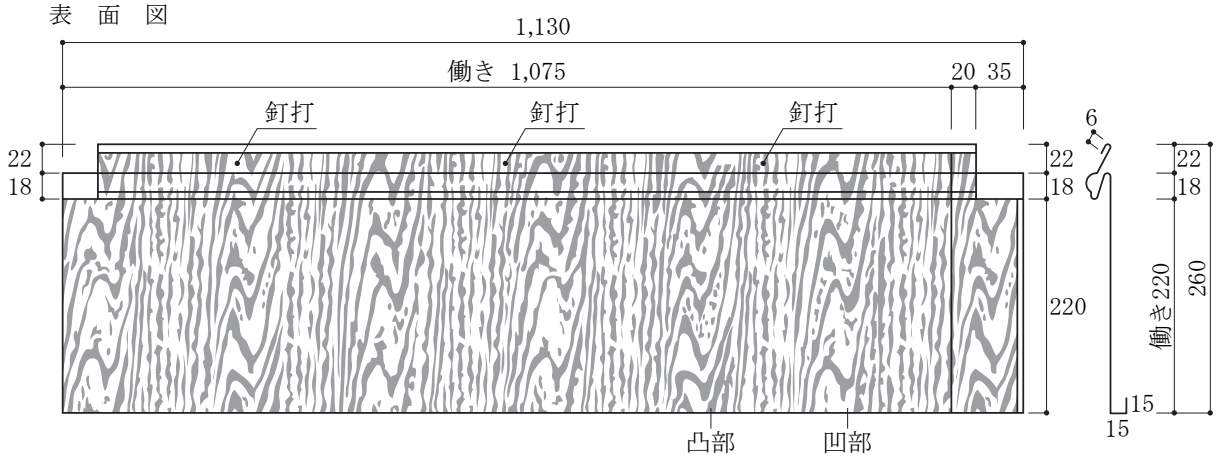
2. 鋼板役物一覧

オ　リ　ジ　ナ　ル　棟	谷　（W　ハ　ゼ）
	

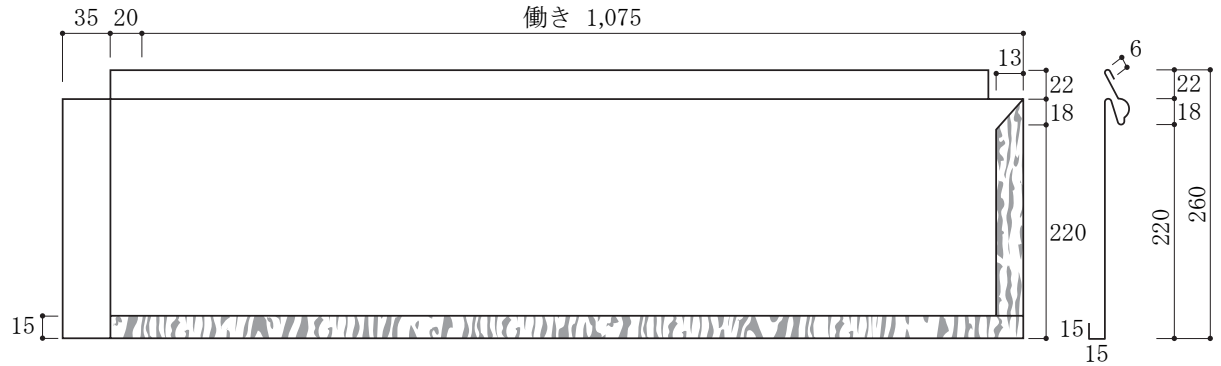
【　ウッドピースグランデ 15　】

1. 製品概要図

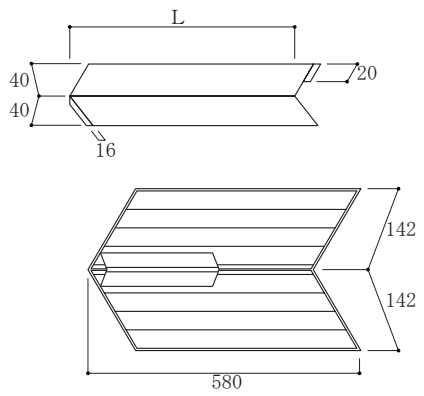
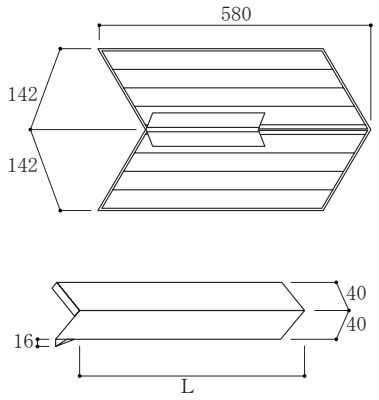
表　面　図



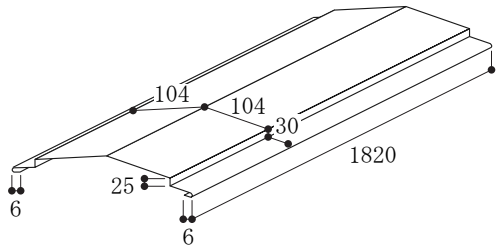
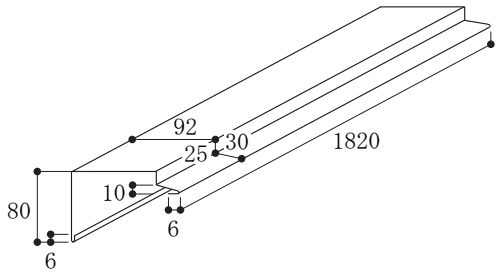
裏　面　図

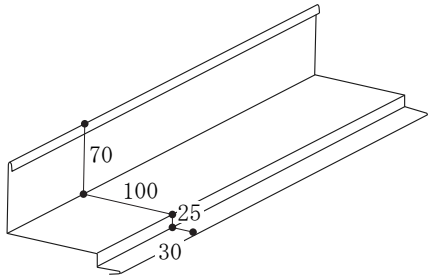


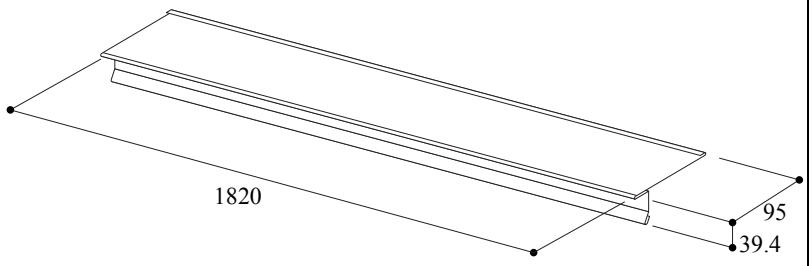
2. 鋼板役物一覧

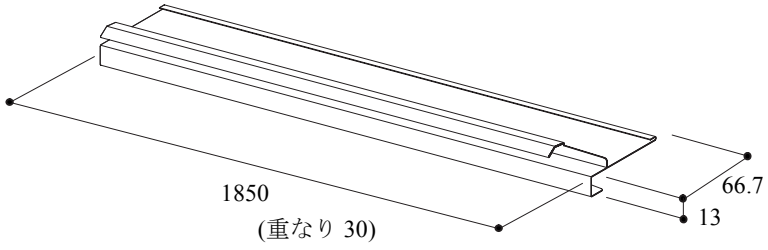
隅　棟　（剣先・捨板セット）	谷　（剣先・捨板セット）
	

【 ｳｯﾄﾞﾋﾟｰｽｸﾞﾗﾝﾃﾞ 8・15 共通副資材一覧 】

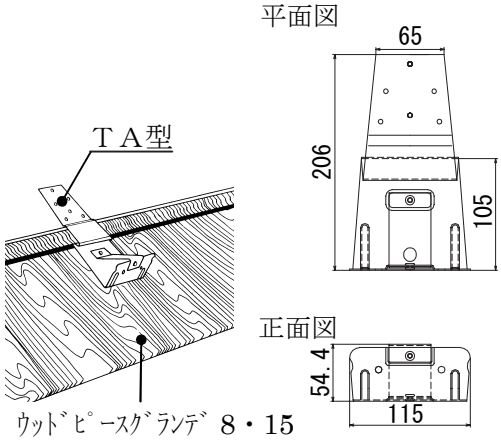
棟　包　み	ケ　ラ　バ　包　み
	

雨　押　え


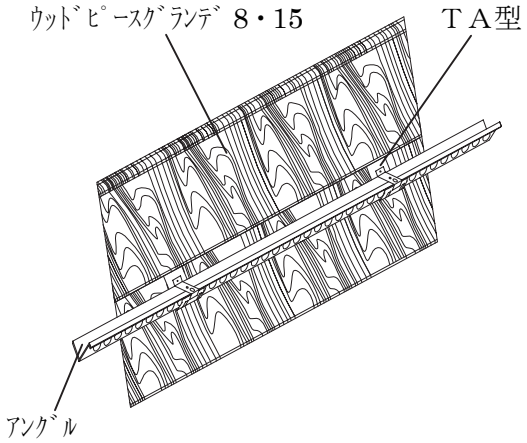
軒　先　唐　草


軒先ゼロスターター(リフォーム用)


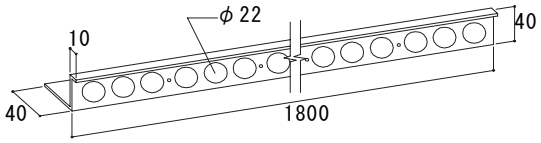
雪止金具　TA 型（T-15）



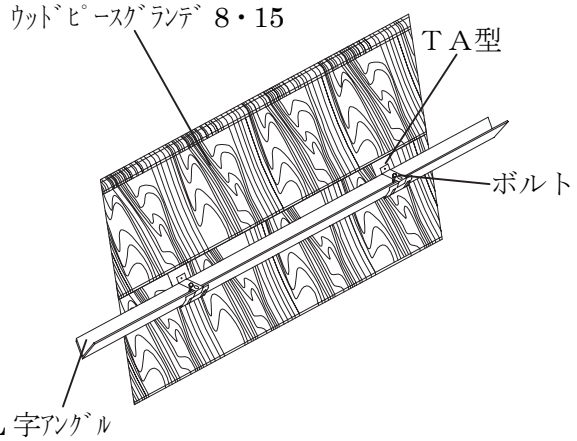
雪止金具 TA 型アングル付



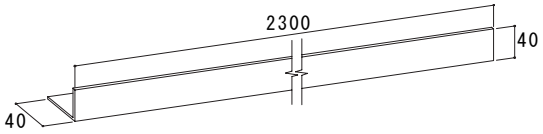
アングルの仕様



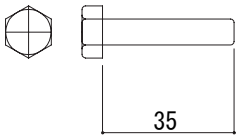
雪止金具 TA 型 L 字アングル付

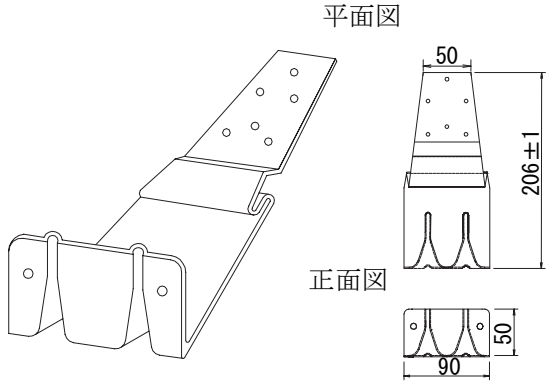
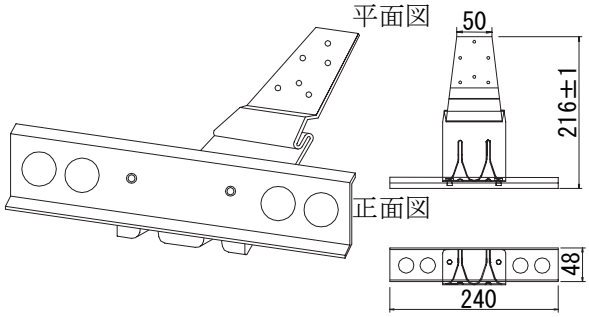
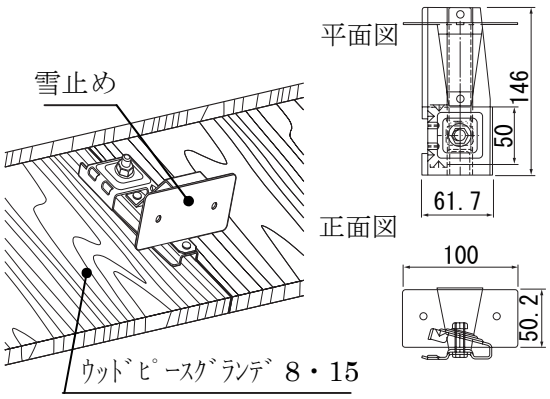
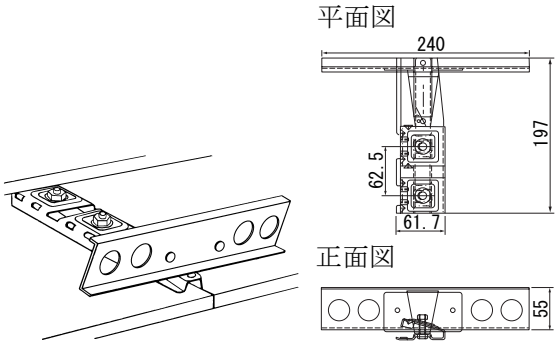


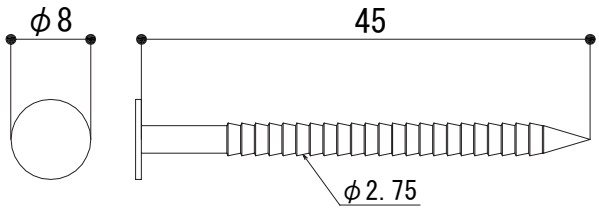
L 字アングルの仕様



ボルトの仕様



雪止金具　G 型	雪止金具　GW 型多雪用
 ・取付け方は TA 型と同様	 ・取付け方は TA 型と同様
雪止金具　ﾀﾃﾊｾﾞ T 型	雪止金具　ﾀﾃﾊｾﾞ TW 型
 ・取付け方は縦ハゼ部に取付け	 ・取付け方は縦ハゼ部に取付け

屋根釘（リング釘　＃12×45　φ2.75 ㎜）


第２章　施工法

この説明書は、施工順序に沿って説明してありますので、よく読んでポイントをつかんでから施工願います。

1. 事前チェック

1-1　下地のチェック

1.野地板はきちんと納まっているか。(凹凸がないか)
2.釘等がでていない。(ルーフィングが破れない様、浮いた釘は打ち込んでおく事。)
3.野地合板上のゴミや木クズ等は箒できれいに掃き清めておく事。

1-2　安全のチェック(確認)

1.現場においての安全作業を心得る事。
2.作業規律を守る事。
3.正しい服装で安全作業を行う。(ヘルメットのあごひも、すそ締め等)
4.共同作業時は事前打合せを行う。(分担、合図等)
5.現場到着時、健康状態の確認。(疲労、風邪、頭痛等)
6.保護具の確認と点検をせよ。(ヘルメット、命つな、地下足袋等)
7.火災予防に気をつけよ。(くわえタバコ等)
8.上下同時作業の厳禁。
9.端材等の投げ捨て禁止。

1-3　足場のチェック

1.急勾配(５寸以上)の場合の安全足場の確認。
2.梯子をかける場合の当木の確認。
3.屋根面上の足場の位置、養生板。

2. 検査

屋根葺工事の品質を確保する為、施工者自身による自主検査並びに検査員検査を実施し、長期保証を実行します。

2-1　自主検査

屋根葺工事施工者は、屋根工事完了報告書(別添)に基き自主的に工程検査を行い、残、ダメ工事終了後その品質を確認し工事の完了を報告します。

2-2　検査員(又は副検査員)検査

検査員(又は副検査員)は施工者の工事完了報告を受けた後、速やかに屋根葺検査を行います。

3. 施工手順

下地の確認・・・野地板は、構造用合板 9 ㎜以上の千鳥張りとし、凹凸がないか確かめる。

↓

ｱﾙﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ施工・・・・・23kg 品

重ね　タテ 100 ㎜、ヨコ 200 ㎜、立上り 150 ㎜以上

↓

唐草の取付け・・・・・・・カラースクリュー亜鉛釘 32 ㎜

↓

屋根材本体の施工・・・・・(1)隅棟・谷の捨板の施工

・屋根材本体の施工に合わせて取付ける。

(2)屋根材本体の施工

・屋根材本体のハゼを揃える。

また、本体 1 枚にスクリュー亜鉛釘 3 本以上使用。

(3)雪止めの取付け

・取付け位置を確認し、屋根材本体の施工に合わせて取付ける。

↓

下地用木材の施工・・・・・雨押え、棟

↓

雨押え、棟包みの施工・・・ウッドピースグランデ 8 は谷 W ハゼ、オリジナル棟を使用。

↓

役物各部のｺｰｷﾝｸﾞ施工・・・(1)役物継手重ね寸法(100 ㎜)

ｺｰｷﾝｸﾞ処理

(2)役物重ね、取合い、ｺｰｷﾝｸﾞ

(3)役物部釘頭ｺｰｷﾝｸﾞ

(4)出隅、入隅、特殊納まり部雨仕舞

↓

屋根面の清掃・・・・屋根材本体の残材、紙クズ、板金、釘等の清掃を行う。

作業中のゴミ、クズ等を放置すると、隙間に入り雨漏りの原因になるので、必ずきれいに掃除をする。

↓

納まり点検・・・・・・屋根材本体不揃い、汚れ等がないか再点検を行う。

↓

養　　生・・・・・・・足場の為の養生板、塗装の為の養生シート、梯子等の当木などをする。

↓

清　　掃・・・・・・・再清掃を行う。

↓

残材処理・・・・・・・ 残材は必ず現場外へ持ち帰り、決して現場に放置、埋設しない。

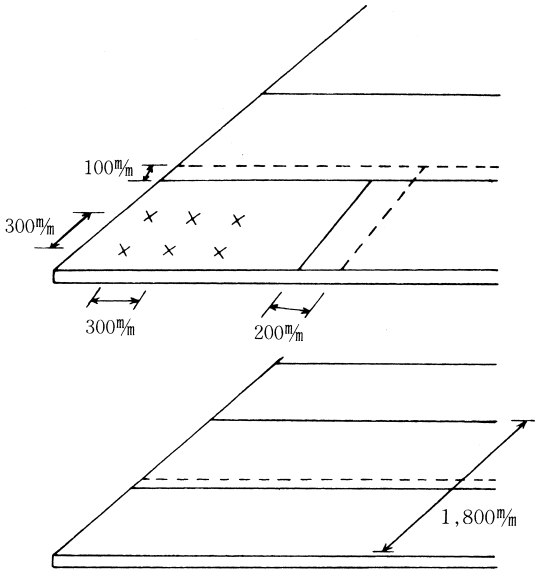
↓

自主検査報告・・・・・・・工事完了後、屋根工事完了報告書(別添)に基き、自主検査の上、検査員検査を受ける事。

4. 施工法

A）ルーフィングの施工

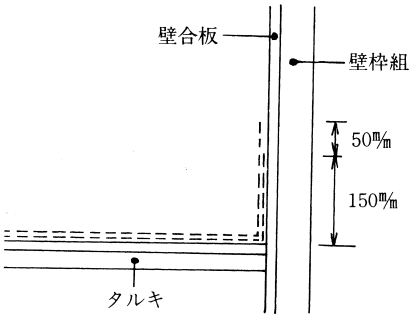
(1) 平部、軒先廻り



ルーフィング重ね、縦100㎜以上
横200㎜以上
タッカ止メ　300㎜以内

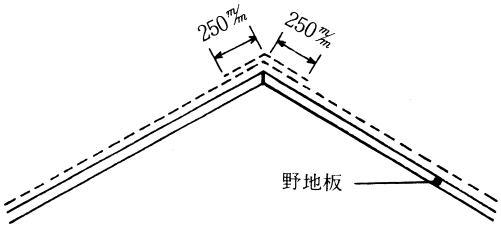
軒先廻り二層張1,800㎜

(2) 壁屋根取合



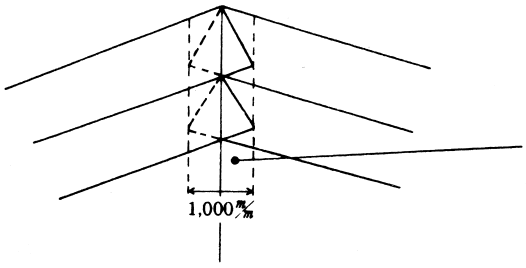
ルーフィング立上り　200㎜以上
壁際ルーフィング　二重

(3) 棟　部



棟部ルーフィング　二重

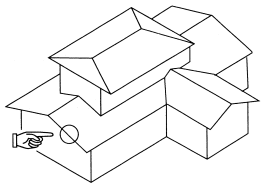
(4) 谷　部

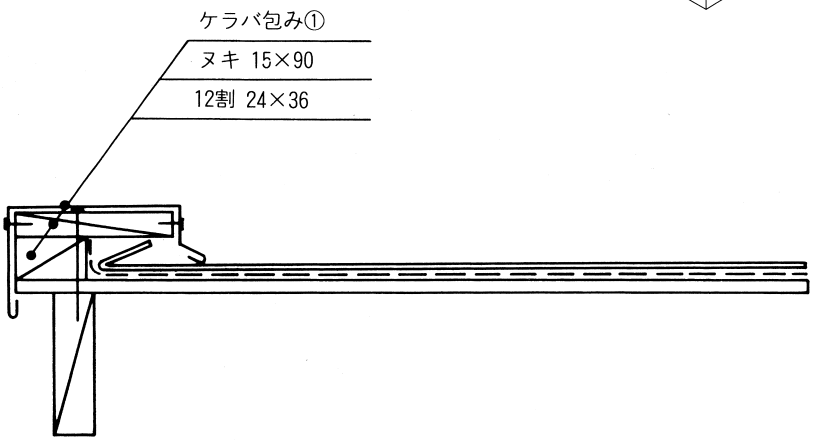


あらかじめ谷にそって
広い増し張りをする。（二層張り）
重ね合せは正確に行う。

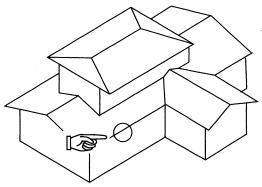
B）ウッドピースグランデの施工

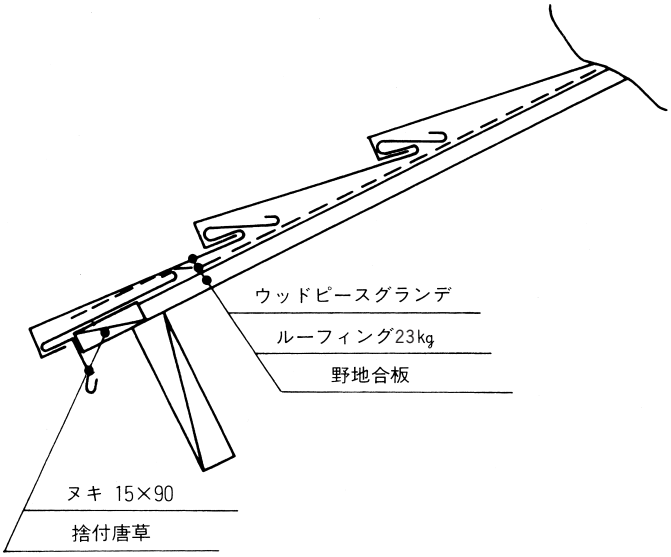
(1) ｹﾗﾊﾞ納まり



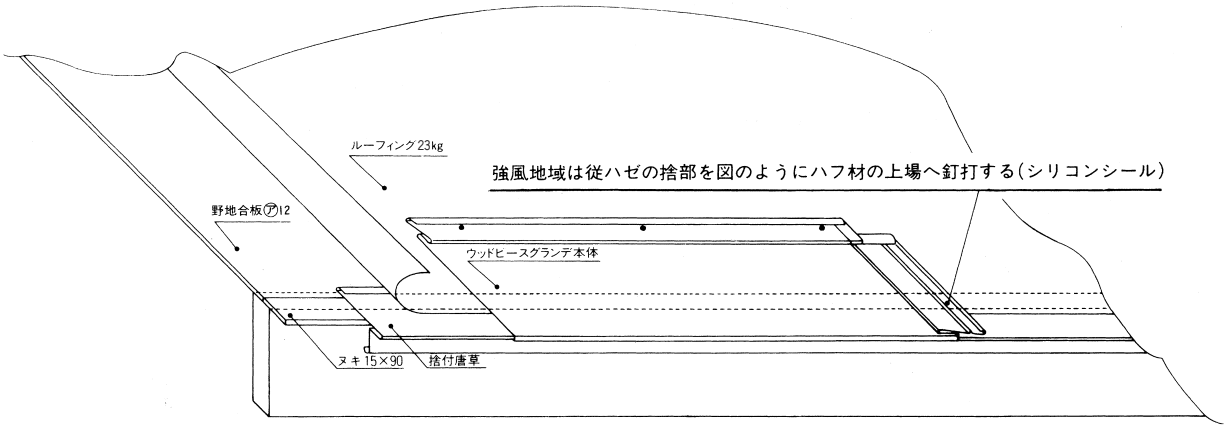


(2) 軒先納まり



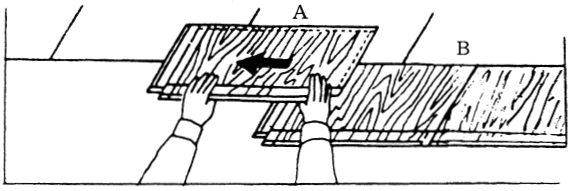


強風地域の軒先部「ウッドピースグランデ」従ハゼ捨部の釘の打ち方

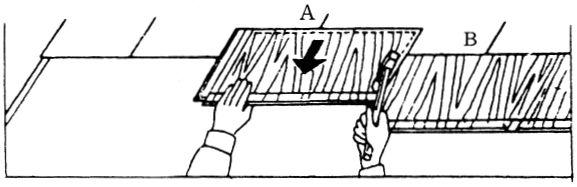


(3) 平部の納まり

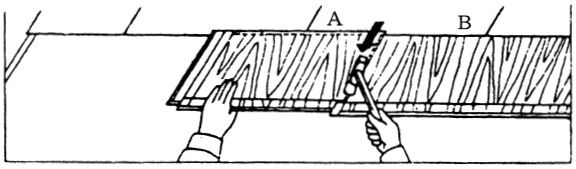
① 「ウッドピースグランデ」Aの縦上ハゼとウッドピースBの縦下ハゼとをかみあわせるためAを矢印の方向にスライドしながら、しっかりとかみあわせて下さい。



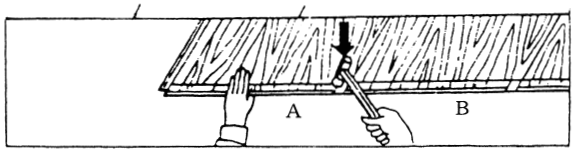
② 「ウッドピースグランデ」Aをウッドハンマー等を利用して確実に手前に引いて下さい。
（この時ウッドピースAの左側を浮かし気味にする）



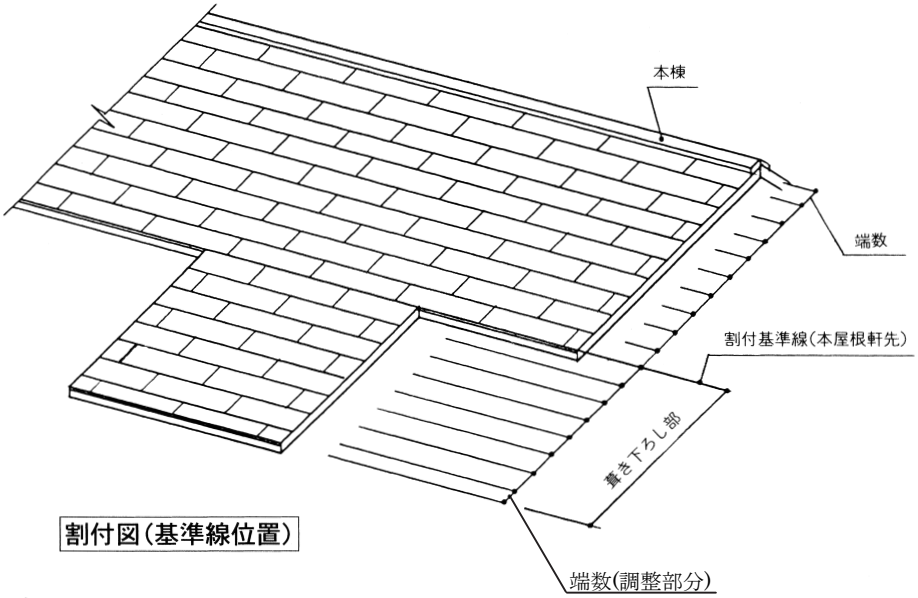
③ 「ウッドピースグランデ」Aを矢印の方向にウッドハンマーまたは柏子木で軽くたたいて下さい。



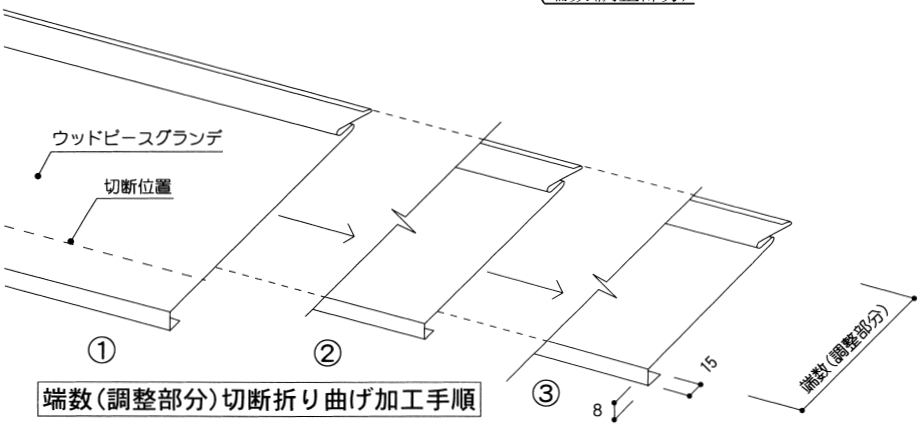
④ ハゼを確実にかみあわせてから「ウッドピースグランデ」Aの右側の釘打ちシロへ先ず釘打ちして、ウッドピースAの右側のかみあわせを再確認して釘打して下さい。



「ウッドピースグランデ」葺き下ろし部葺き足調整

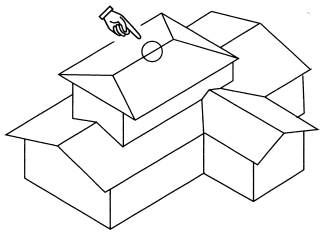


割付図（基準線位置）

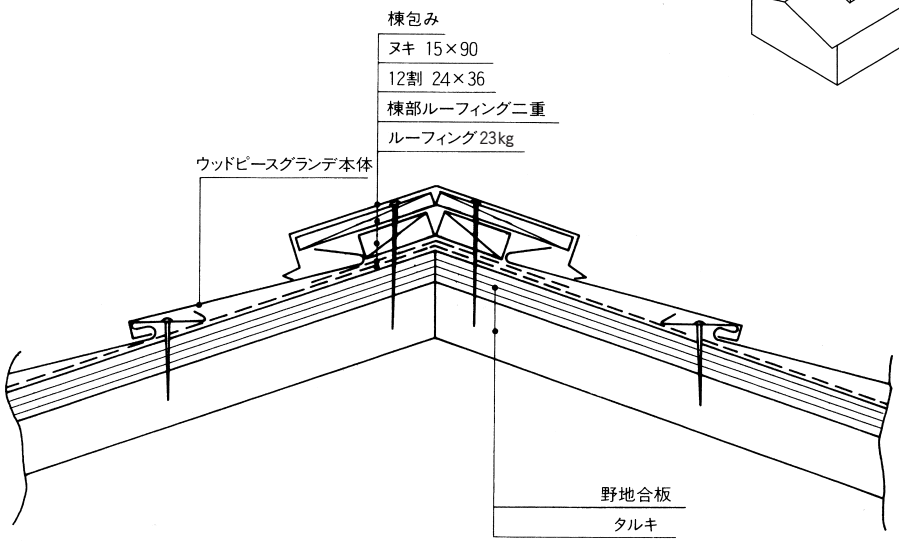


端数（調整部分）切断折り曲げ加工手順

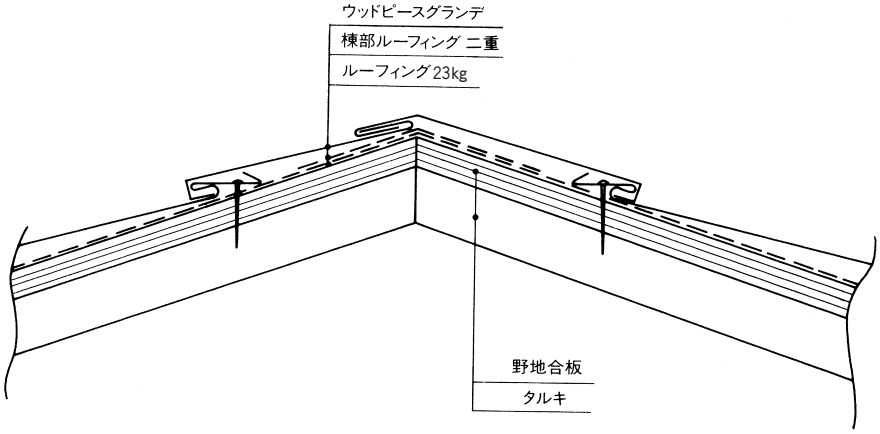
(4) 本棟・隅棟納まり



棟包み

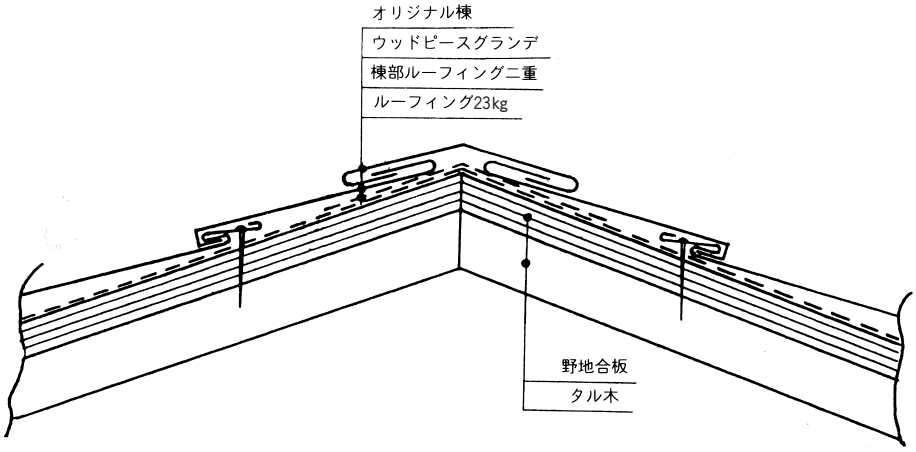


ハゼ組棟(ツカミ込)



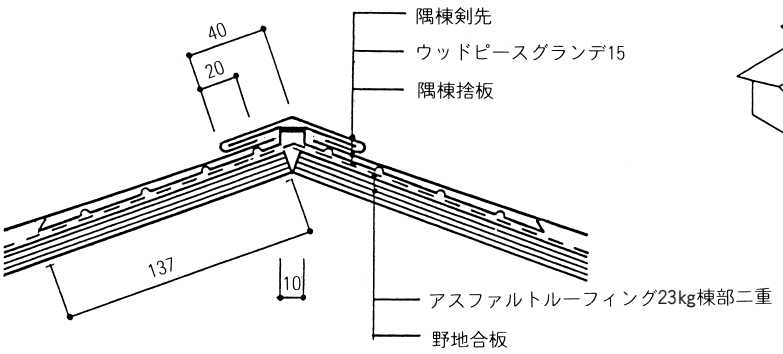
オリジナル棟

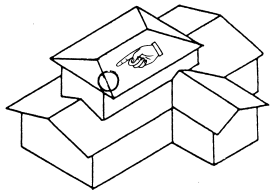
※ウッドピースグランデ8のみ



※ウッドピースグランデ 15 のみ

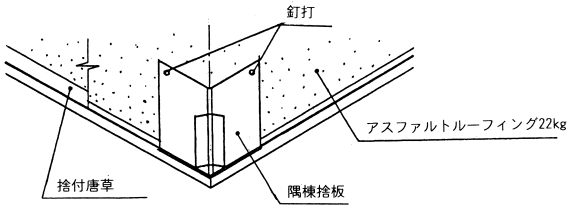
隅　棟(剣先・捨板)



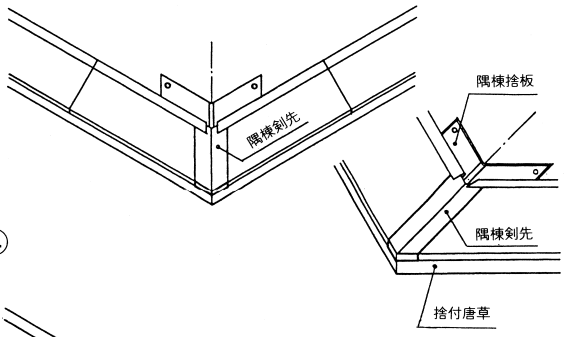


軒先・隅棟(剣先・捨板)納め

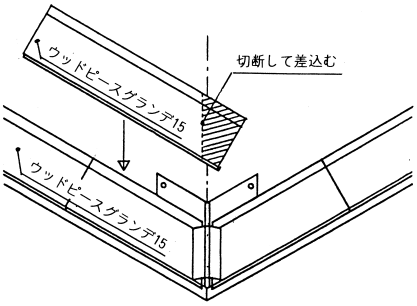
①



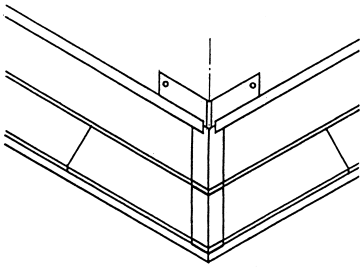
③



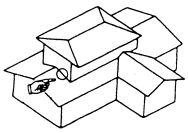
②

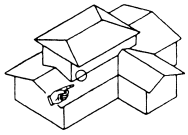


④

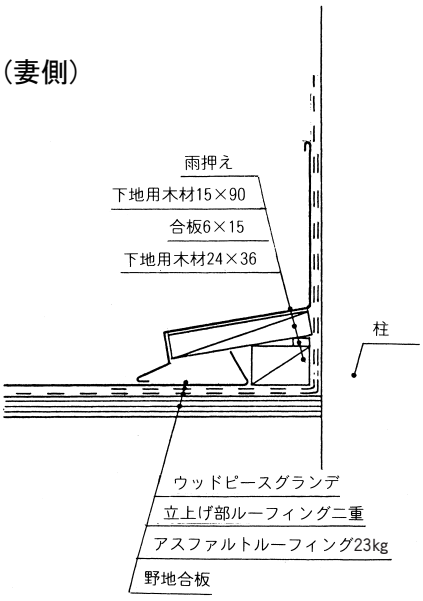


(5)壁・屋根取合(妻側・桁側)

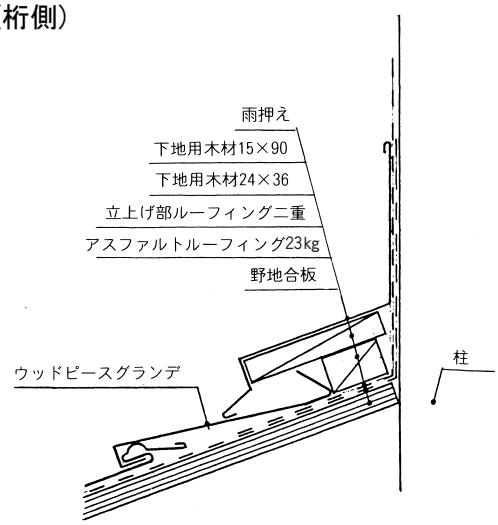




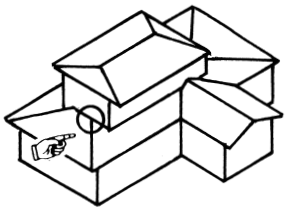
(妻側)



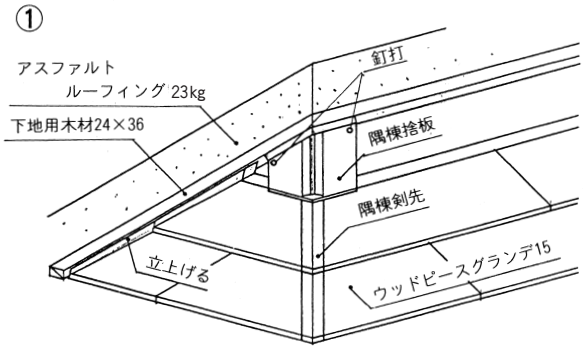
(桁側)



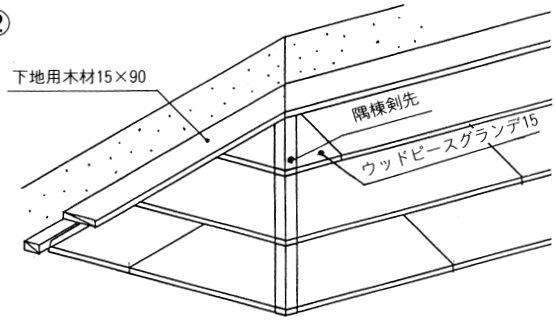
壁と隅棟（剣先・捨板）部納め



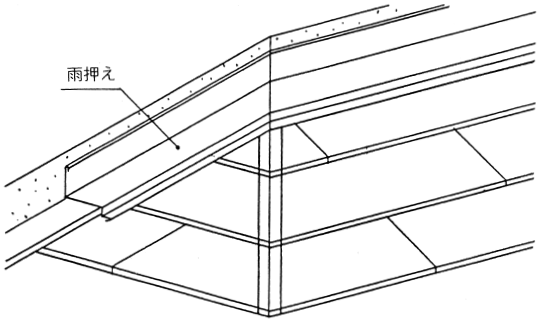
①



②

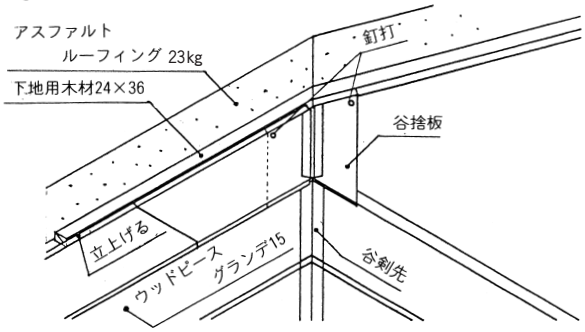


③

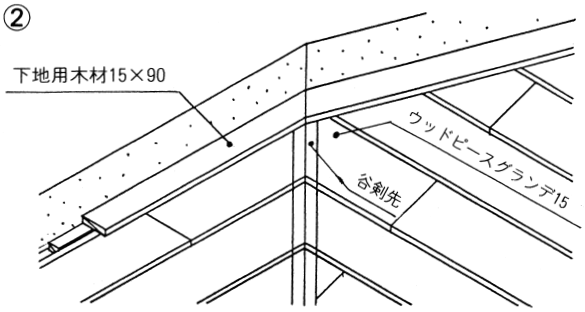


壁と谷（剣先・捨板）部納め

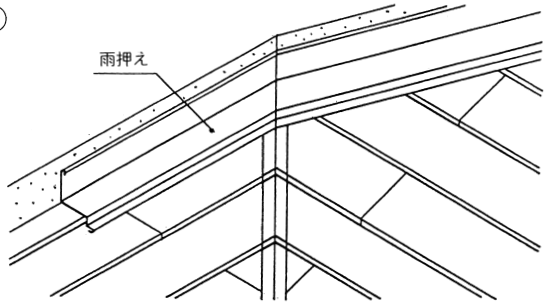
①



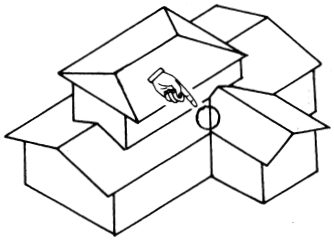
②

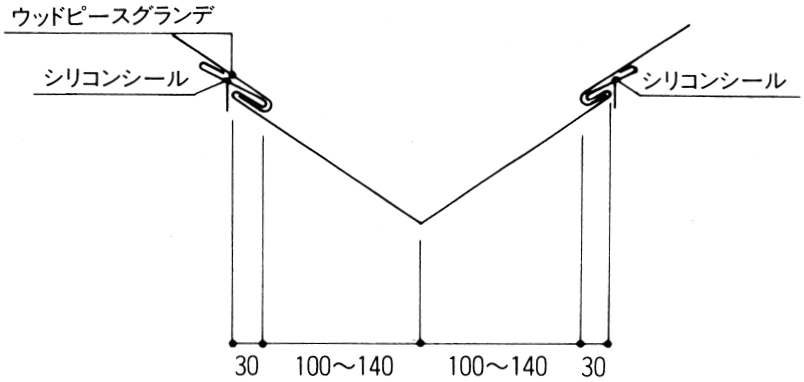


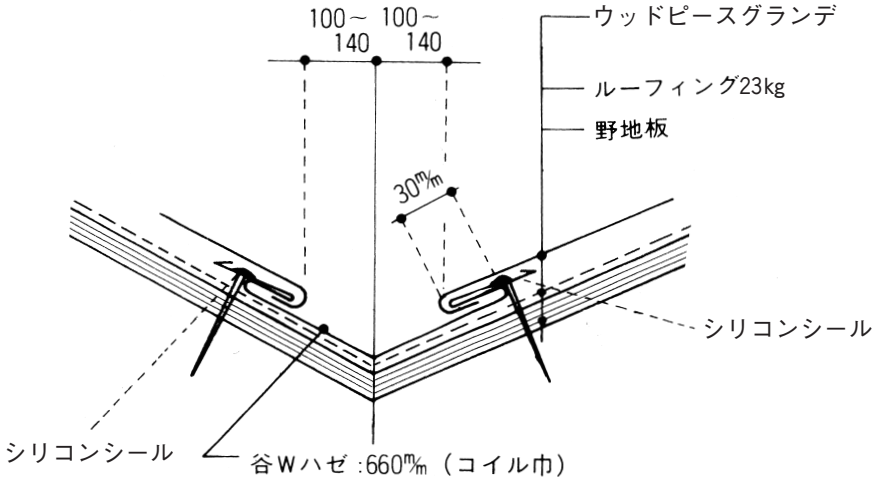
③



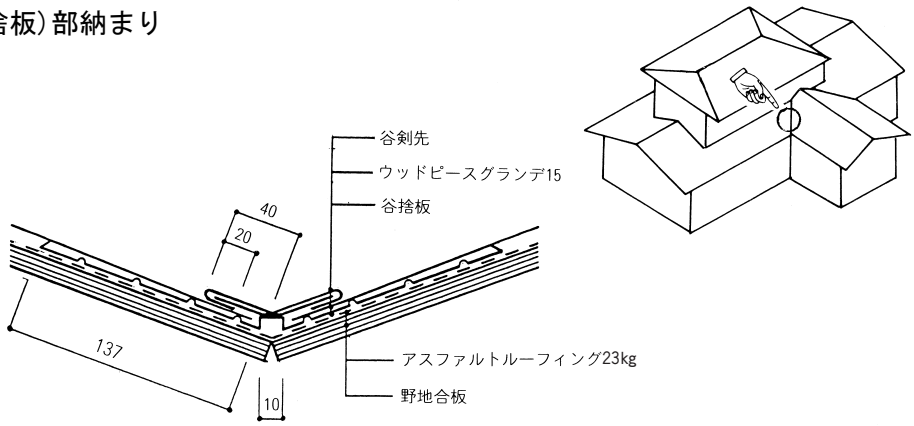
(6)－1　谷(谷Wハゼ)部納まり



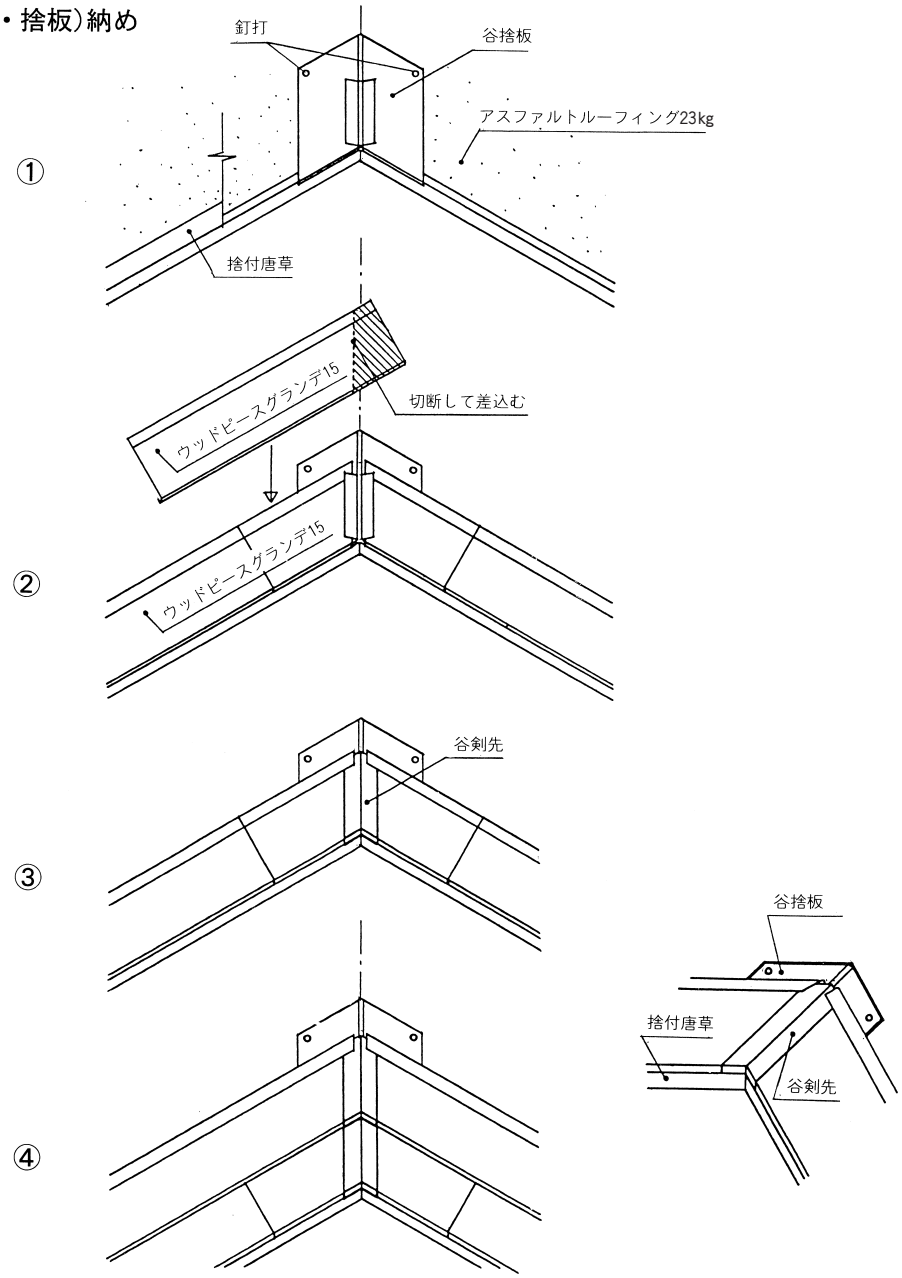




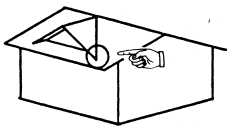
(6)－2　谷(剣先・捨板)部納まり



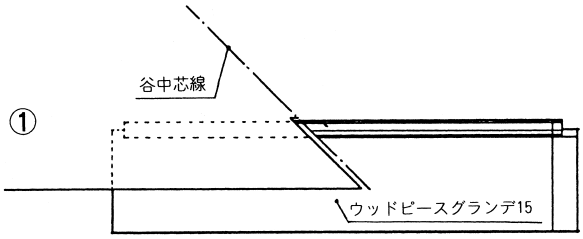
軒先・谷(剣先・捨板)納め



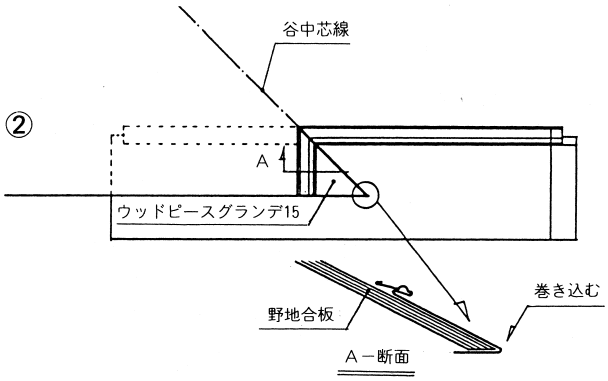
ケラバと谷(剣先・捨板)納め図



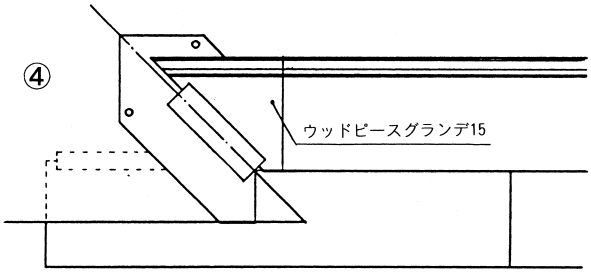
①



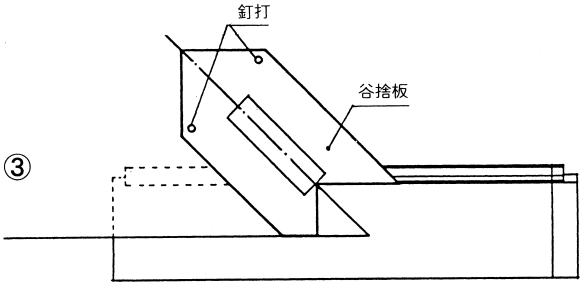
②



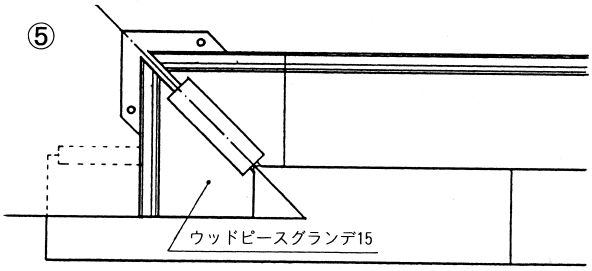
④



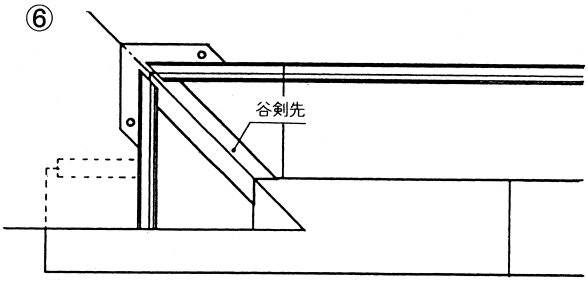
③



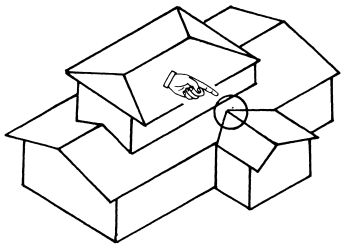
⑤



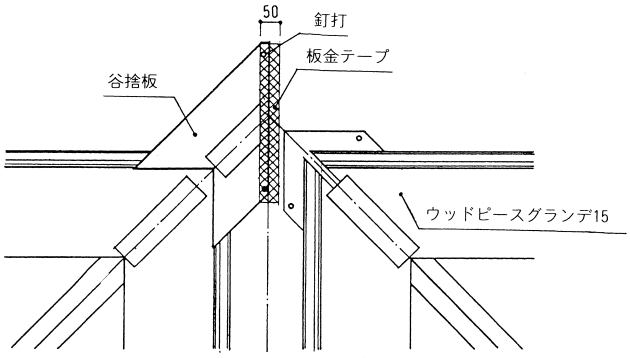
⑥



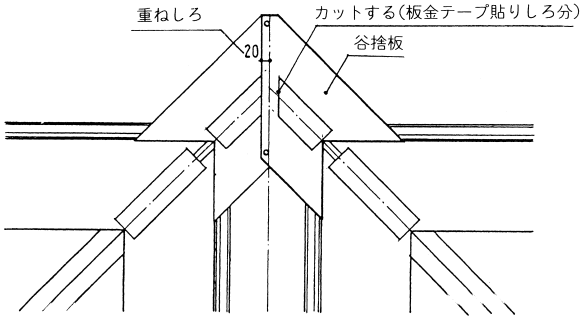
谷(剣先・捨板)部と谷(剣先・捨板)部納り図



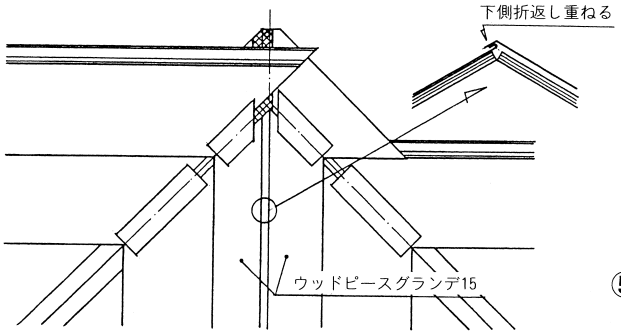
①



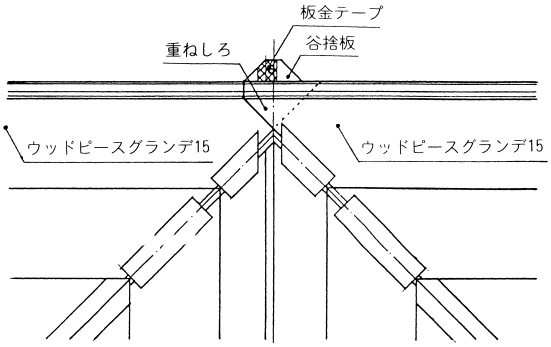
②



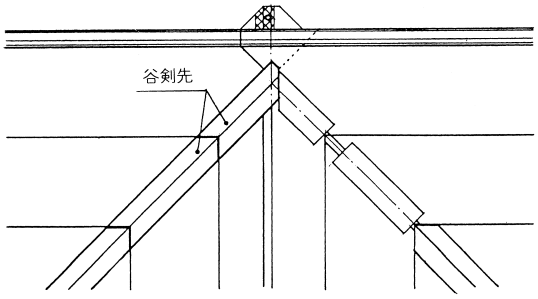
③



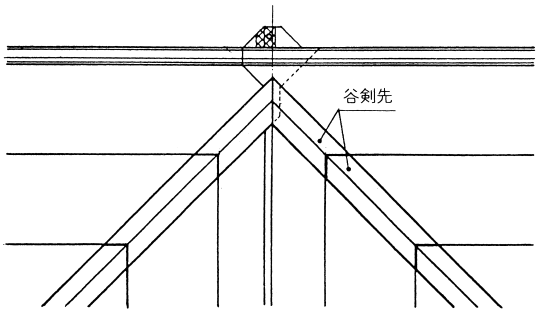
④



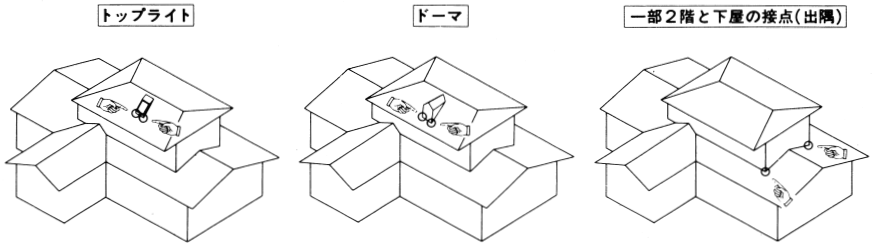
⑤



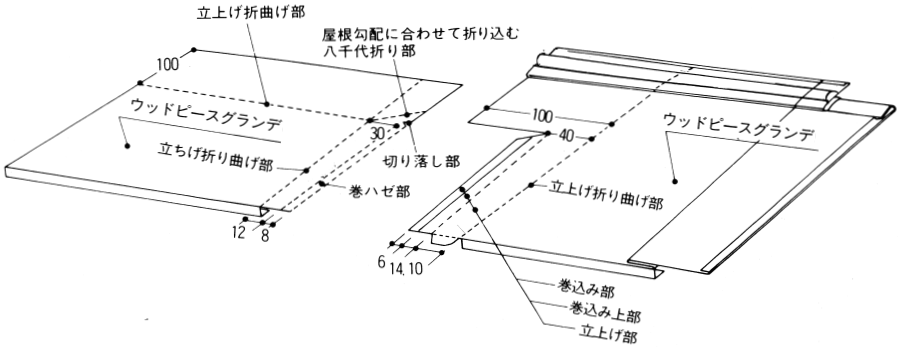
⑥



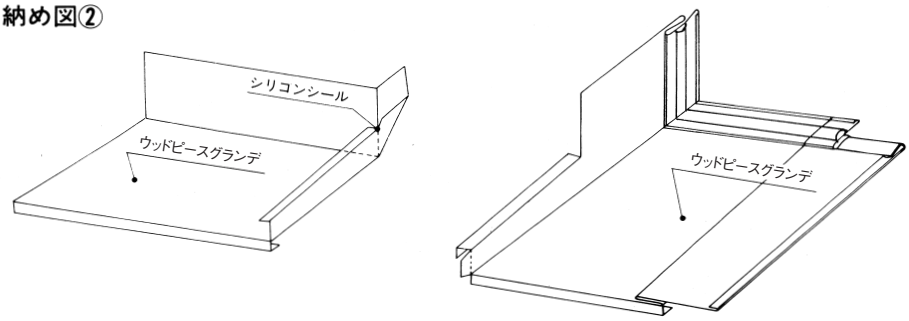
(7) 共通納まり



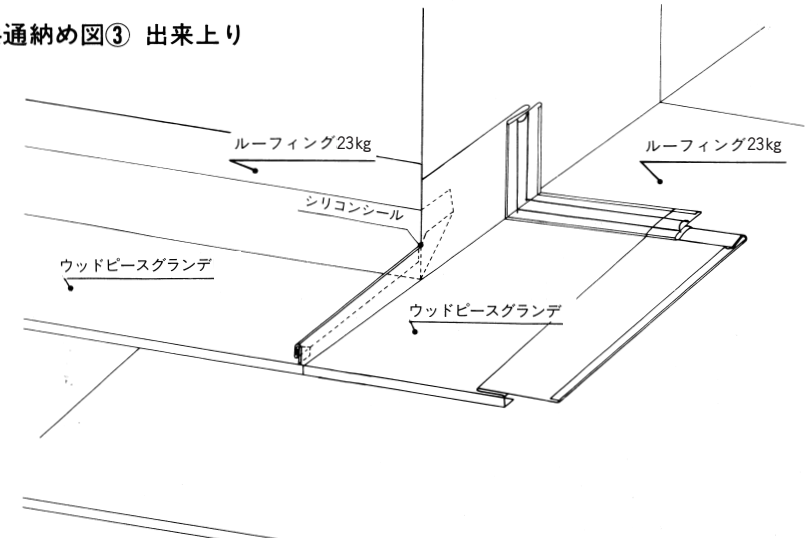
共通納め図①



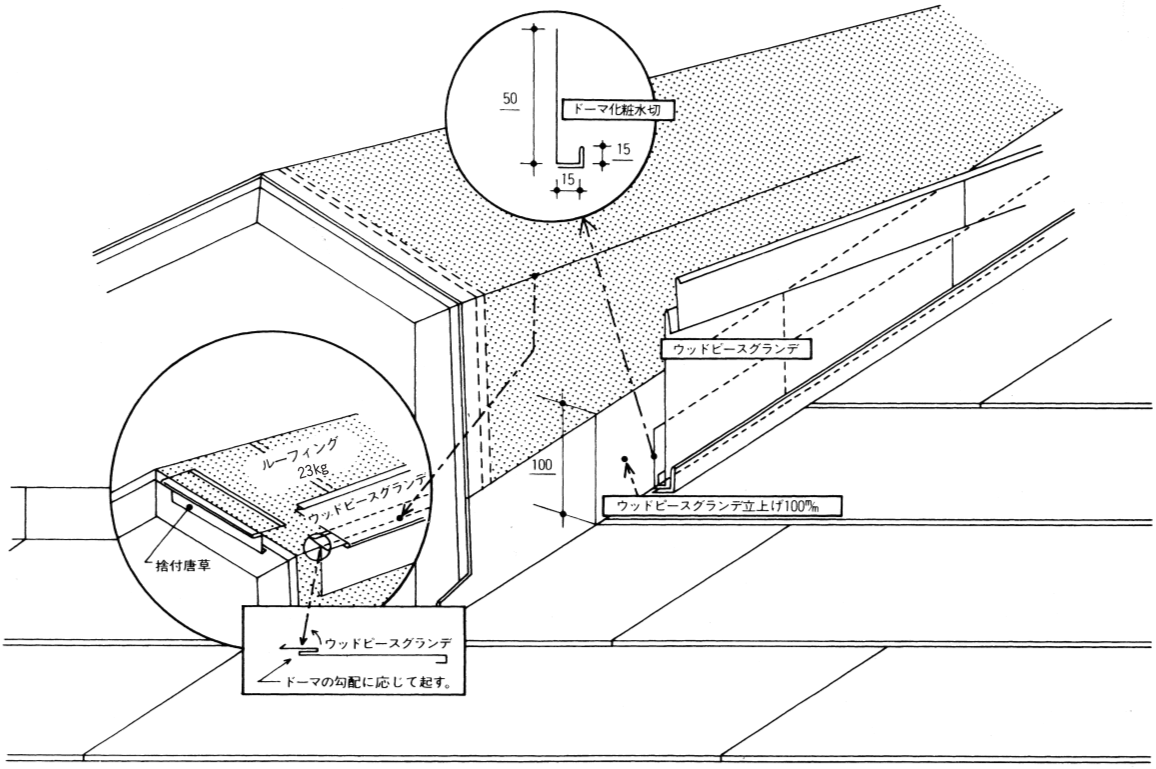
共通納め図②



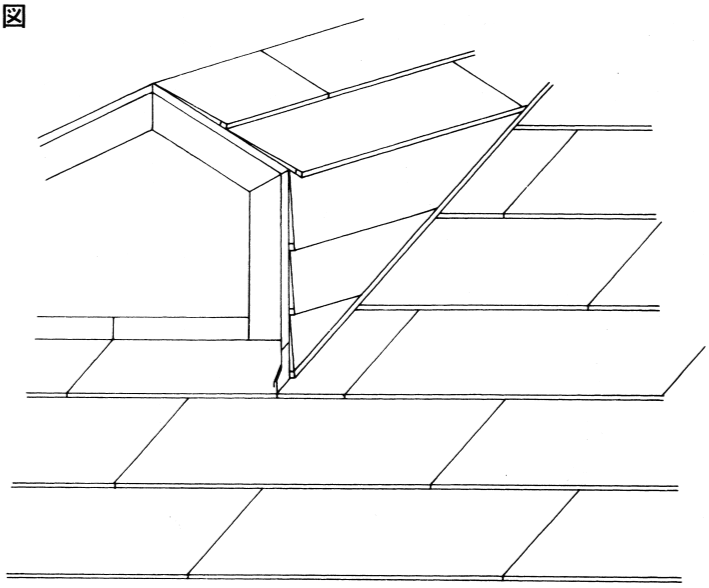
共通納め図③ 出来上り



(8) ドーマの納まり



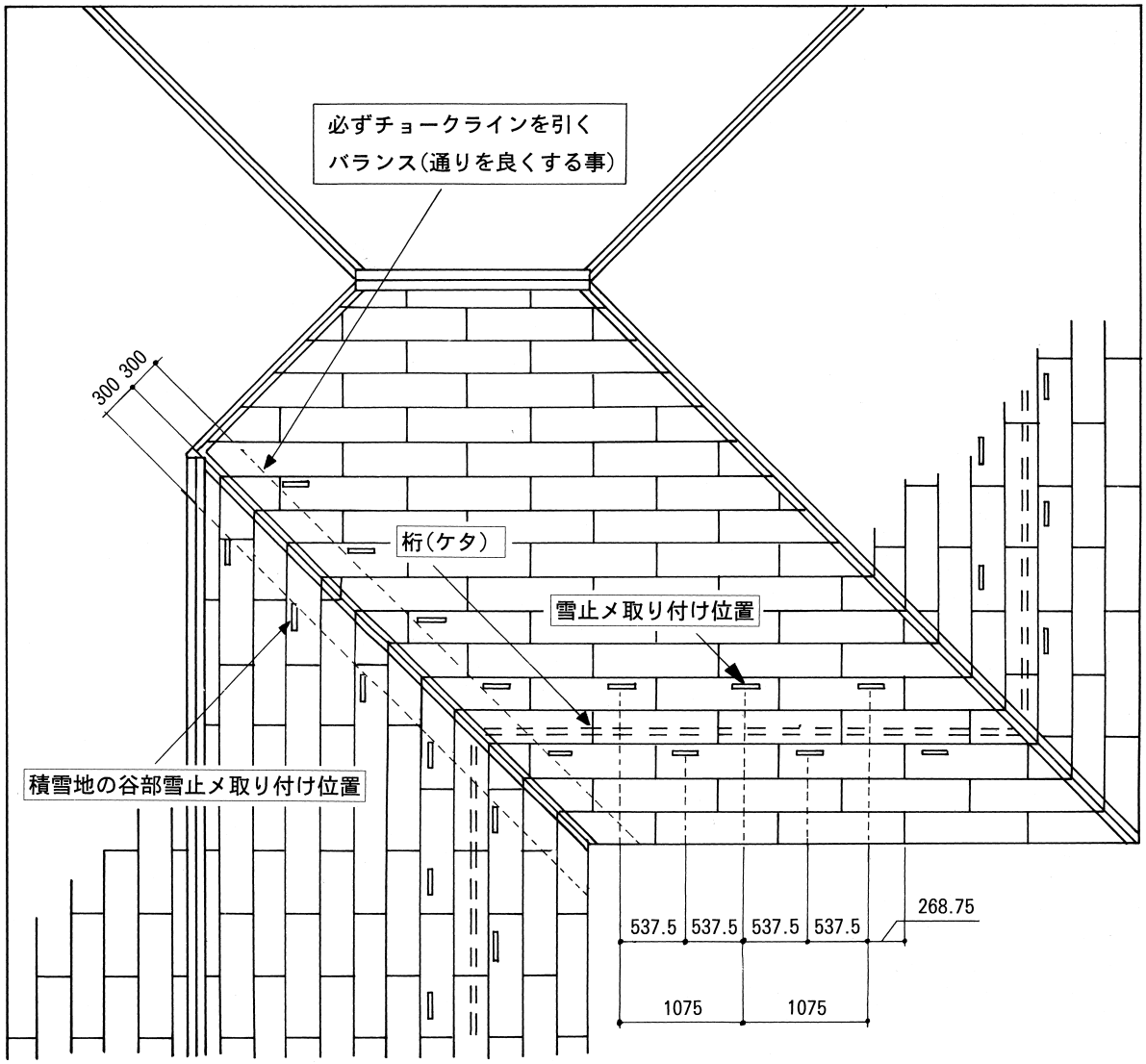
ドーマ完成図



※共通納め図参照

(9) 雪止めの取付け方

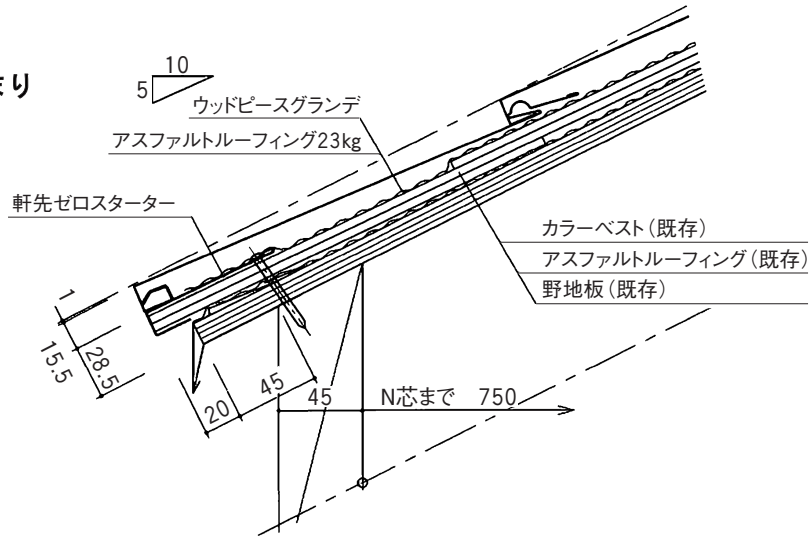
積雪地の谷部の雪止め標準取付け位置



※　標準取付け位置で不安と思われる多雪地等は必ず地域担当板金職人さんと打合せの上、取付け数量をご検討下さい。

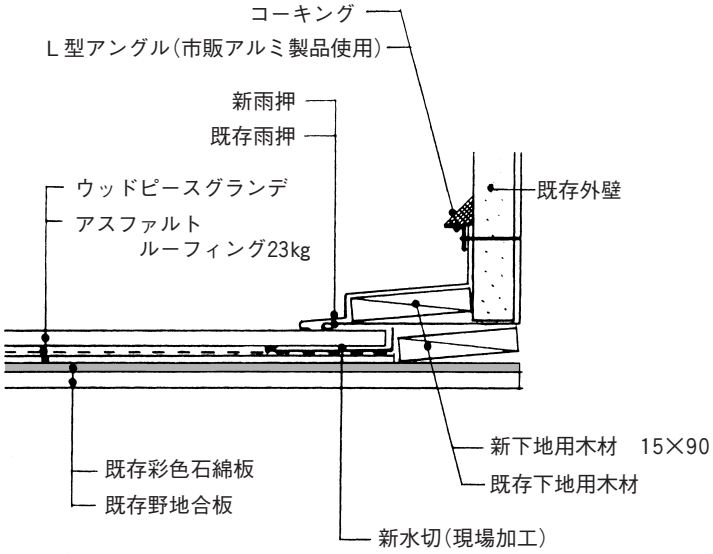
(10)葺き替えによる納まり

軒先納まり

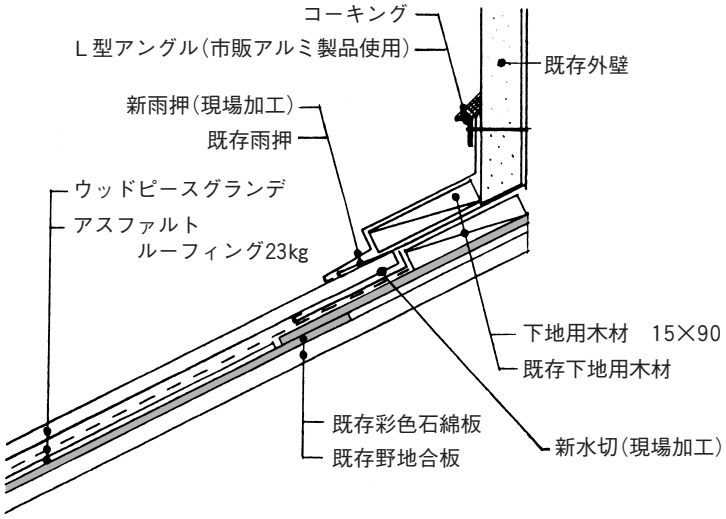


壁際納まり

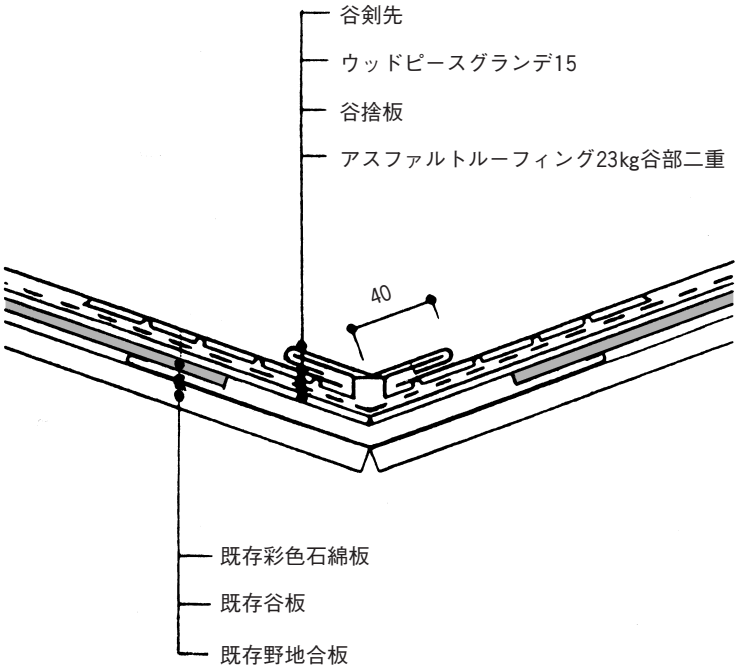
妻側



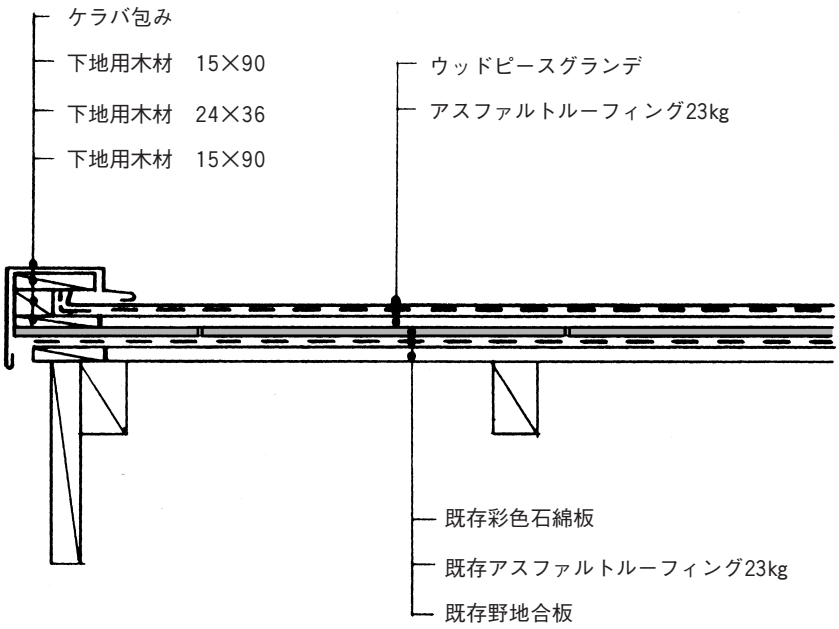
桁側



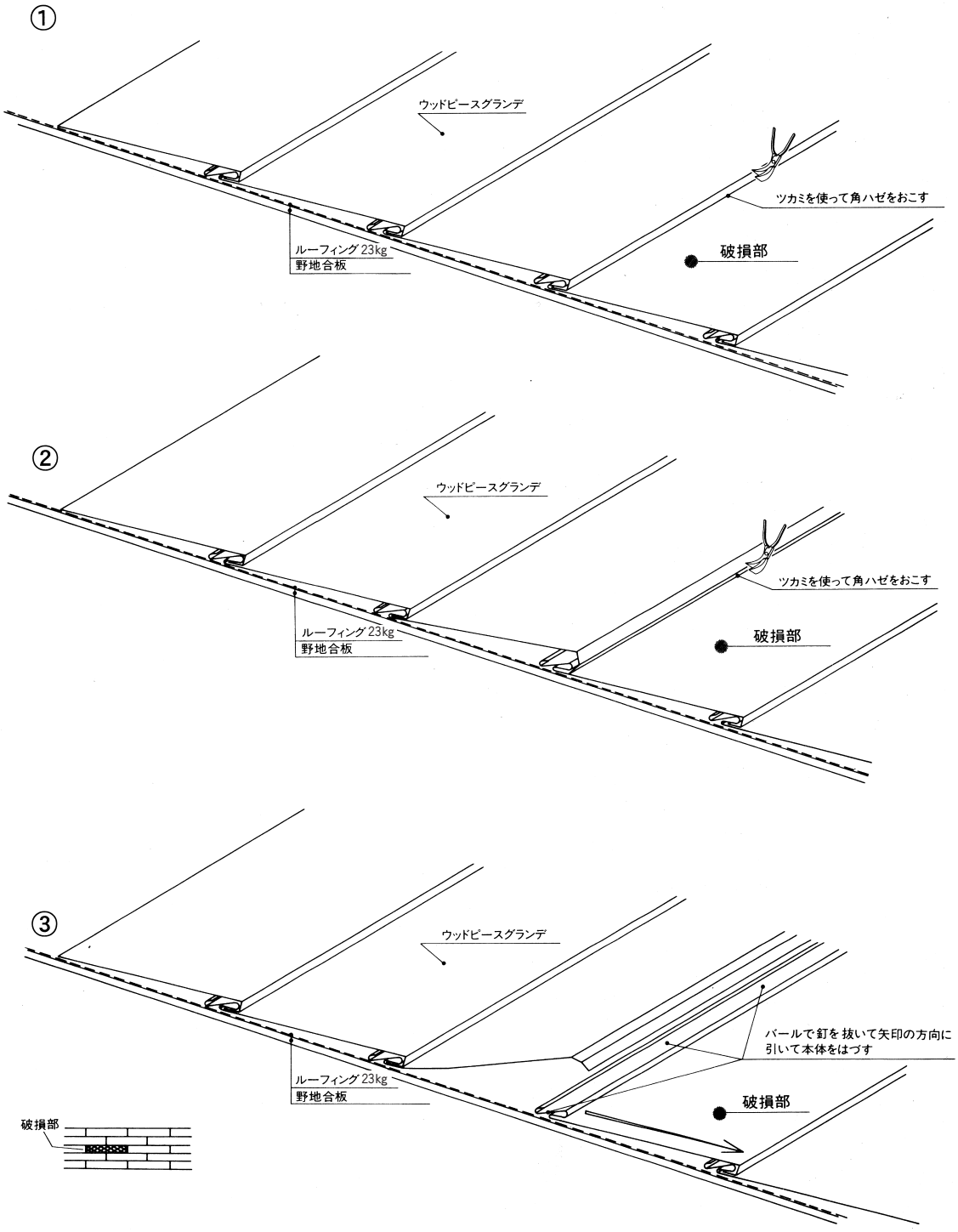
谷（剣先・捨板）部納まり



ケラバ部納まり



○屋根面部取替補修方法


①
ウッドピースグランデ
ツカミを使って角ハゼをおこす
ルーフィング 23kg
野地合板
破損部
②
ウッドピースグランデ
ツカミを使って角ハゼをおこす
ルーフィング 23kg
野地合板
破損部
③
ウッドピースグランデ
バールで釘を抜いて矢印の方向に
引いて本体をはづす
ルーフィング 23kg
野地合板
破損部
破損部

屋根工事完了報告書（見本）

「ウッドピースグランデ8」編

屋根工事を完了致しましたので、次の通り報告します。

（工　事　概　要）

別　添　資　料

工事邸名		
建　設　地		
屋根工事日		

（自　検　査　報　告）

自主検査項目	内　　容	点　検	備　　考
材料確認	アスファルトルーフィング23kgか。		
	ウッドピースグランデの色は指定色になっているか。		
	各種役物はあるか（谷コイルは、本体と同色か）。		
	本体用リング亜鉛釘45㎜、役物用スクリュー亜鉛釘32㎜は揃っているか。		
	コーキング剤。		
準　　備	足場が安定しているか。		
	落下防止策の方法は良いか。（命綱はあるか）		
	下地の野地合版の段差、破損はないか。		
	ゴム底の靴を履いているか。		
施　工　上	ルーフィング（敷き込み）重ね、①タテ100㎜、ヨコ200㎜　②棟相互100㎜以上か。		
	谷、軒先廻りのルーフィング増張をしたか、軒先廻1,800㎜。		
	壁ぎわはルーフィング立上げ200㎜か。		
	ルーフィングのタッカ止め300㎜内外か。		
	ウッドピースグランデ葺の立ハゼは揃っているか。		
	棟板取付前のウッドピースグランデ葺の納りは良いか。		
	谷の納まり、雨仕舞は良いか。（谷Wハゼ）		
	出隅、入隅の納まり、雨仕舞いは良いか。		
	役物の継手重ね、取合、役物釘頭のコーキングをしたか。		
	屋根面にアバレ、ズレ、キズはないか。（キズは指定ペイントで補修）		
	屋根面仕上面の汚れ清掃は終わったか。		
片付け、清掃	敷地内残材の片付、清掃は終わったか。（片付は毎日）		
そ　の　他			

屋根工事完了報告書（見本）

「ウッドピースグランデ15」編

屋根工事を完了致しましたので、次の通り報告します。

（工　事　概　要）

別　添　資　料

工事邸名		
建　設　地		
屋根工事日		

（自検査報告）

自主検査項目	内　　容	点　検	備　　考
材料確認	アスファルトルーフィング23kgか。		
	「ウッドピースグランデ15」の色は指定色になっているか。		
	各種役物はあるか〈隅棟（剣先・捨板セット）・谷（剣先・捨板セット）は本体と同色か。〉		
	スクリュー亜鉛釘は揃っているか、45㎜、32㎜役物用カラー釘。		
	コーキング剤。		
準　　備	足場が安定しているか。		
	落下防止策の方法は良いか。（命綱はあるか）		
	下地の野地合版の段差、破損はないか。		
	ゴム底の靴を履いているか。		
施　工　上	ルーフィング（敷込み）重ね、①タテ100㎜、ヨコ200㎜、②棟相互100㎜以上か。		
	谷、軒先廻りのルーフィング増張をしたか、軒先廻1,800㎜。		
	壁ぎわはルーフィング立上げ200㎜か。		
	ルーフィングのタッカ止め300㎜内外か。		
	「ウッドピースグランデ15」葺の立ハゼは揃っているか。		
	棟板取付前の「ウッドピースグランデ15」葺の納りは良いか。		
	谷の納まり、雨仕舞は良いか。		
	雨押への納まり、雨仕舞は良いか。		
	出隅、入隅の納まり、雨仕舞は良いか。		
	役物の継手重ね、取合、役物釘頭のコーキングをしたか。		
	屋根面にアバレ、ズレ、キズはないか。（キズは指定ペイントで補修）		
	屋根仕上面の汚れ清掃は終ったか。		
片付け、清掃	敷地内残材の片付、清掃は終ったか。（片付は毎日）		
そ　の　他			

第３章　安全作業について

安全作業並びに、屋根施工後の養生、保守管理のお願い。

1. 安全作業心得

「安全はすべてに優先する」

ウッドピースの施工にあたり、災害の発生を未然に防止する為、施工管理の徹底を期していただきたい。

1. 作業開始前の点検、確認

㋑　正しい服装と健康状態の確認

㋺　作業規律の確認と厳守

2. 作業に於ける点検、確認

㋑　作業標識の重視

㋺　整理、整頓

㋩　足場の安全確認

㋥　漏電、感電防止の措置

㋭　機械、工具の安全運転の確認

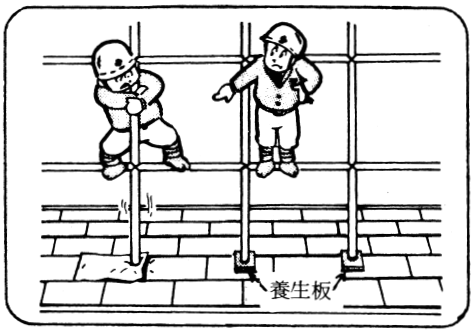
3. 公衆災害の防止措置

2. 現場の養生、保守管理

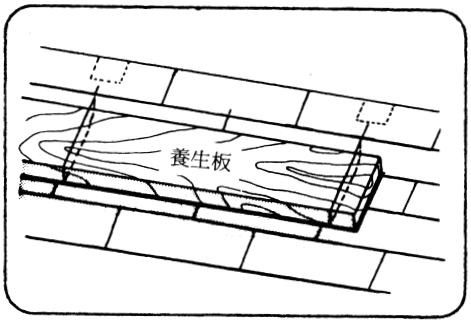
葺きあげられたウッドピースがいつまでも美しく、御施主様に、より一層のご満足を頂くため、屋根施工後、他の業者が施工する場合、次の点に充分ご注意いただき指示徹底下さいますようお願い致します。

1. **足場を組む場合は、屋根面に必ず養生板を敷いて下さい。**
   - 屋根面を足場にして作業する場合は必ず養生板を敷きこんで下さい。（第１図）
   - 養生板の敷き方として、第２図のような方法もあります。
2. **壁面その他モルタル塗り、リシン吹き付け等の塗装作業に際しては、屋根面をシートで養生して下さい。**（第３図）

第１図　養生板の設置



第２図　養生板の取り付け



第３図　養生シートの設置

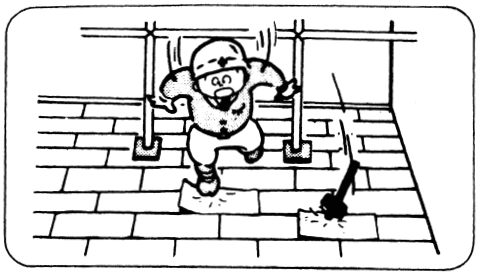
○　　×

〈ご注意〉

- シートを掛ける際、けらばに釘を打たないで下さい。
- 屋根表面に付着したモルタル、塗料の汚れは補修できませんのでご注意下さい。又、シンナーで拭かないで下さい。
- 屋根に昇る場合はゴム底のハキモノを使用して下さい。

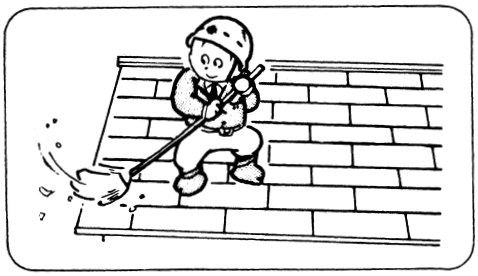
3．作業中、足場から屋根面へ跳びおりたり、物を落したりすると塗装にキズが生じクレームの原因となりますので注意して下さい。

第４図　落下等について



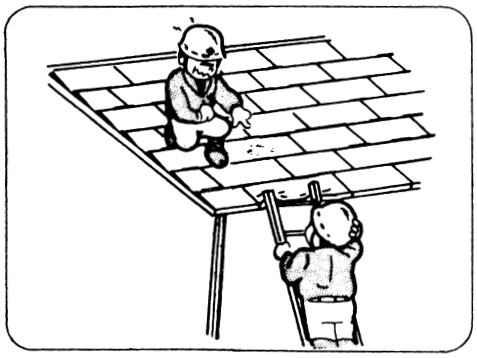
4．作業中のゴミや、クズ等を放置するとハゼの隙間に入り、雨漏りの原因にもなりますので、必ずきれいに掃除して下さい。（５図）

第５図　清掃について

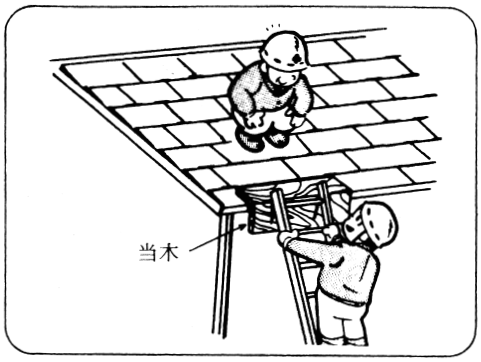


5．梯子をかける場合には、当木を使って下さい。（６、７図）

第６図　当木について(1)

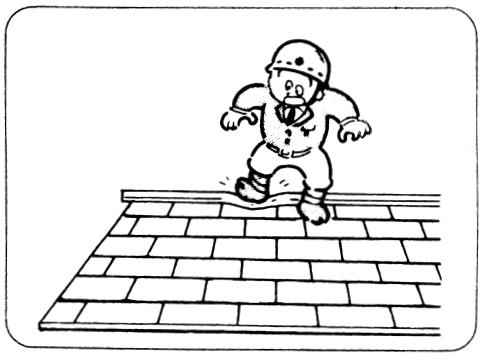


第７図　当木について(2)

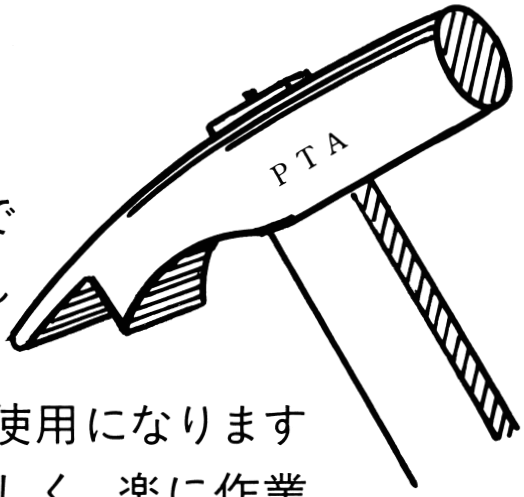


6．ウッドピースの役物等は踏み込まないようにして下さい（８図）

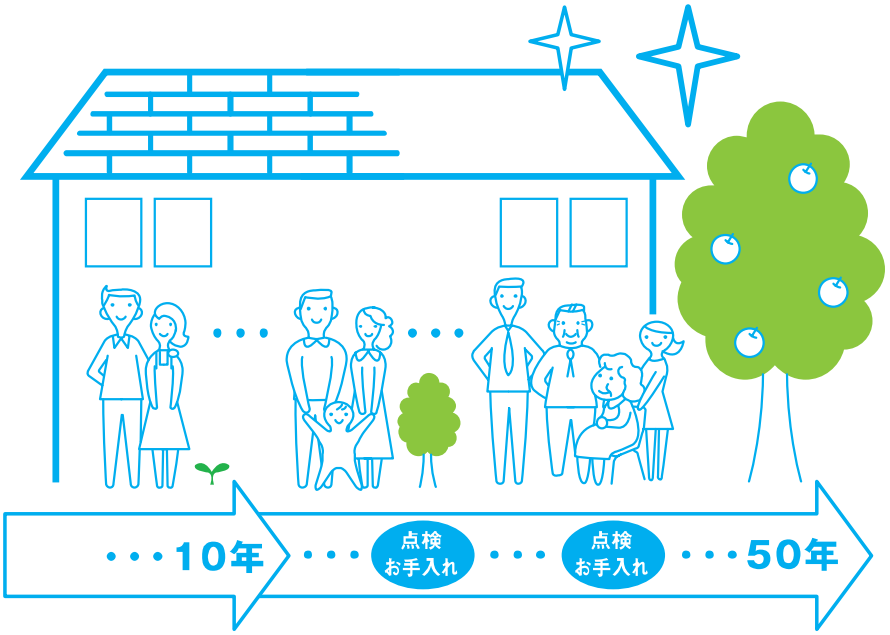
第８図　投物について



これはラクラク
ウッドハンマー



一般的なハンマーでも施工作業にはさしつかえありませんが、ウッドハンマーをご使用になりますと、より一層早く、美しく、楽に作業を行うことができて便利です。



定期的なお手入れで、美しさいつまでも

屋根は雨の日も、風の日もお家を守るため、過酷な環境のもとにあります。
だからこそ定期的な点検とお手入れが重要です。
「ウッドピースグランデ」は安心の塗膜15年保証・赤錆10年保証。
その後も適切なメンテナンスで、40年～50年と美しさを保つことができます。
住まいは、家族の暮らしを支える大切な財産。
大切に思うことが長持ちの一番のコツなのです。

製造販売元

YOSHIOKA

株式会社 吉岡

本社・工場:
宮城県仙台市宮城野区蒲生字袋西の内第2-68-8 〒983-0002
Tel.022-258-5121（代） Fax.022-259-3168